

BX

文化シッター

# スライディングウォール

一般タイプ / 遮音タイプ / ランニングタイプ / 展示タイプ







# ひとつのフロアから、 マルチな空間へ。 それが、私たちの提案する 『スペース・クリエイティブ』です。

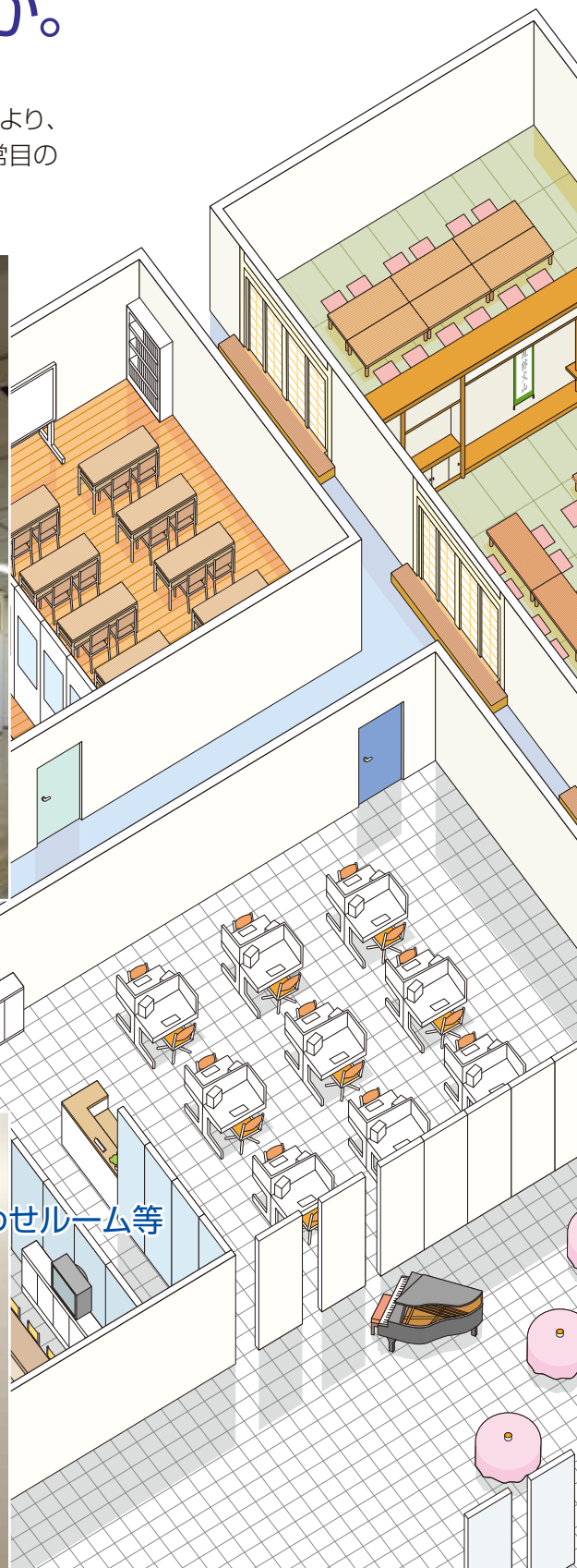
ホテルや結婚式場、レストランをはじめ、オフィスまた官公庁などでは、その状況下に応じての空間づくりが重要課題とされています。例えば多人数を収容する場合には広いスペースとして、またひとつのフロアで複数の催事を行う場合には間仕切りを利用し、いくつかのスペースをつくりださなくてはなりません。

「スライディングウォール」は、目的に応じて部屋を手軽に、そして自由にレイアウトできる“第3の壁”。機能性の高さはもちろんのこと、遮音性、不燃性、操作性、安全性、デザイン性のすべてを兼ね備え、あらゆるシーンで快適で使いやすい『空間の創造』をサポートいたします。

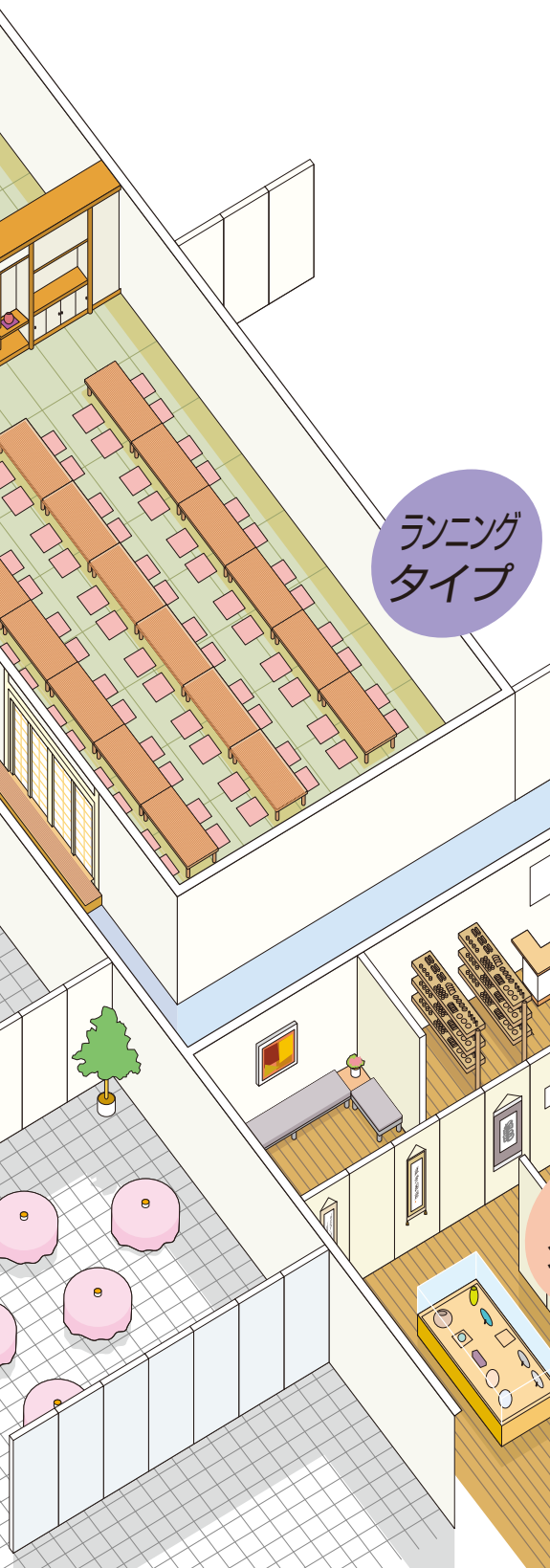


# 多種多様なスペースの問題。 こんな場合、どう解決しますか。

使用する環境やシーン、また目的や規模をはじめ、個人・法人の違いにより、それぞれの状況下における「空間づくり」は異なります。例えば、日常目の当たりにするこのような場合、あなたならどう対処しますか？







ランニング  
タイプ



### 最大900mmの厚い壁で高い遮音性能

例えばひとつのフロアで、大人数の宴会と小規模の宴会をいくつか同時に開催する場合。

BX



展示  
タイプ

### 手軽な操作で空間を演出

例えばイベントで、展示スペースとセミナー、さらに販売コーナーを設けたい場合。

# スライディングウォールなら、 目的や用途に応じて自由にお選びいただけます。

## 目的・用途別コンテンツ

マンション  
ホテル  
レストラン  
旅館 料亭  
病院  
学校  
ホール 展示場  
イベント会場  
音楽教室  
オフィス  
セレモニーホール  
各種施設  
宴会場



操作がスムーズの



すぐれた遮音性

機能性・デザイン性の高さ

大型の空間にも対応



和風の空間にも調和

規模に応じて幅・

空間の演出を重視

## 軽量設計



## 高さに対応可能



遮音性より機能性を追求し、単に空間を作る場合に適していません。例えば一般家庭の場合、来客数やお子様の成長にあわせて間仕切りを移動・開閉することで「壁」の役割をします。もちろんオフィス等にもご利用いただけます。

一般タイプに比べパネルが厚いため、より高い遮音性を追求することが可能です。会議室や宴会会場をはじめ、多目的ホールなど、収容人数が比較的多く、かつ操作の利便性を重視したい場合にはこのタイプをおすすめします。

ホテルや結婚式場、コンベンションホールなど、集客数が非常に多く、さらにマイク等を必要とする場所で、高度な遮音性能を必要とする空間に適しています。また和風のお部屋向きの、床の間ごと移動できるタイプもあります。

美術館や博物館などに適しており、動員数や来場者の動線に応じた組み合わせが可能です。また手軽な操作で扱えることから、搬入・搬出時の無駄な時間を省き、さらに展示内容の変更がある場合もスムーズに行えます。

一般タイプ

遮音タイプ

ランニングタイプ  
(大型移動壁)

展示タイプ

BX

# スライディングウォール商品体系

## INDEX

タイプ	製品名	用途	遮音性(dB)※1	圧接方式	框寸法(mm) (パネル厚見込み)
一般タイプ	C-50	宴会場 学校 旅館 ホテル 料理店		プッシュ式 ※C-60J、 C-70Jは ギヤ式	54 (46~49)
	C-60・C-60P C-60J(ギヤ式)				60 (52~56)
	C-70・C-70P C-70J(ギヤ式)				70 (62~66)
遮音タイプ	SS-65	会議室 ホテル宴会場 コンベンションホール セレモニーホール 学校 公共施設	49.0	ギヤ式	73 (68)
	SS-85		54.5		85 (80)
	SS-85エッジレス		54.5		80
	SS-105		51.1		105 (101)
	SS-115		57.1		123 (116)
ランニングタイプ (大型移動壁)	RW-115	旅館大広間 ホテル宴会場 コンベンションホール セレモニーホール		ギヤ式	123 (116)
	RW-特注				150~900
展示タイプ	SP-60	美術館 ギャラリーホール 学校美術教室 コミュニティーホール		ストッパー	60 (56)
	SP-70				70 (66)
その他の仕様等	下地工事・レール				

※1 遮音性は中心周波数500Hz時のパネル単体の透過損失(dB)を示します。  
遮音数値は表面材が鋼板の場合のデータになります。

※2 製作可能寸法はP.40「タイプ別パネル製作範囲表」をご参照ください。



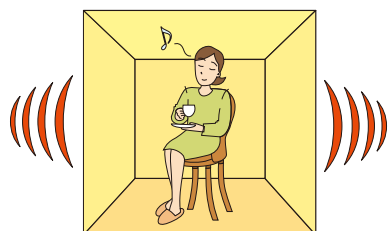
パネル最大寸法(mm) <sup>※2</sup>	表面材	施工写真	記載ページ
W 1200・H 4000	ラワン合板4.0t 5.5t シナ合板5.5t ポリエステル化粧合板4t 焼付鋼板0.6t 亜鉛メッキ鋼板0.6t 練付合板5.5t ケイカル板4t～6t		13～26
W 1200・H 4000			
W 1200・H 4000			
W 1200・H 4000	焼付鋼板0.6～1.0t 亜鉛メッキ鋼板0.6～1.0t 繊維強化ボード8t プラスターボード9.5t 12.5t SS-85エッジレスは 標準色焼付鋼板0.8tのみと なります。 プラスターボード 12.5t+12.5t 鋼板1.6t		27～39
W 1200・H 4000			
W 1200・H 3000			
W 1200・H 4000			
W 3000・H 8000			
W 20000・H 6000	ケイカル板12t プラスターボード9.5t～12t		41～44
W 20000・H 4000			
W 1200・H 4000	ラワン合板5.5t		45～48
W 1200・H 4000			
			49・50

BX

# 防音性を高めるには、密閉性の良さはもちろん 施工する際に多重構造にするなど、さまざまな工夫

（ まず「防音」とは何か、  
ご説明しましょう ）

音源からの距離が2倍になると、その大きさは4分の1に減少する音。つまり騒音対策には原因となる場所との距離をとれば良いのですが、限られたスペースの場合、現実的には不可能なものがあります。そこで遮蔽物を利用した防音が必要になります。音が物に当たると、音の一部は反射、残りの音は物に吸収され、最後に残ったものが透過音として人の耳に伝わるのです。この透過音を小さくすることが「防音」です。防音の方法には2通りあり、1つは反射を大きくさせ、物に入る音を少なくする「遮音」。もう1つは物に入った音を大きく吸収する「吸音」です。場所と目的によりどちらの方法を選択するか、また、防音材の使いわけは異なりますが、一般的にコンクリートは遮音性に、またグラスウールは吸音性にすぐれているとされています。



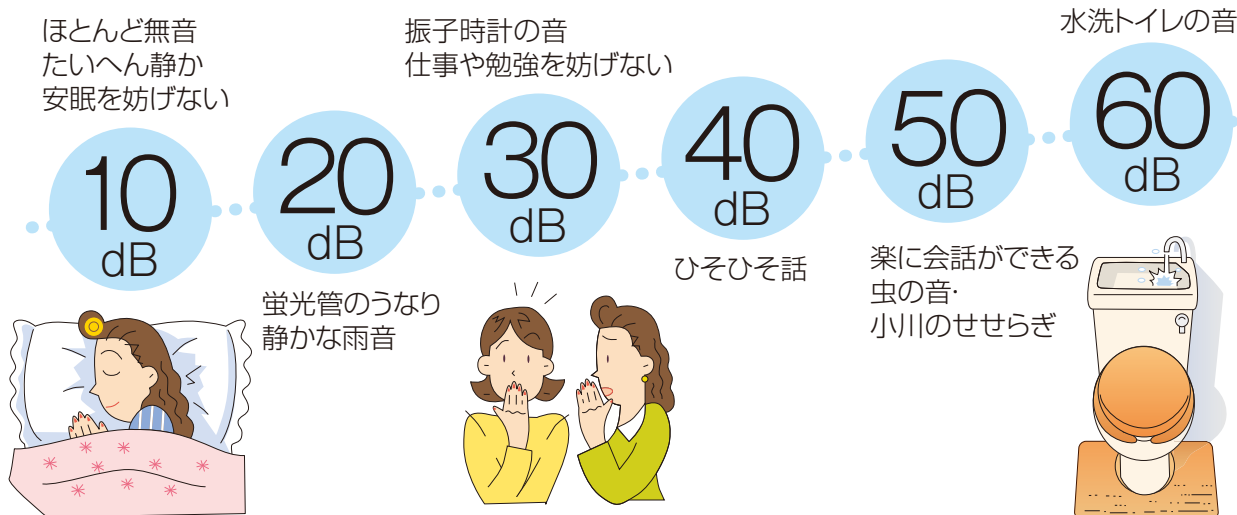
（ 防音には、どれくらいの  
費用がかかるのでしょうか？ ）

音の大きさを表す単位をdB(デジベル)といい、約10dB上がると、人の耳にはその大きさの2倍に感じるそうです。さて、防音にはどのくらいの費用が必要なのでしょう？

一般的には音の大きさを半減する(10dB下げる)のに、費用は4倍かかると言われています。技術的には完全に近い防音室を作ること可能ですが、その費用は莫大な金額となるため、事前にどの程度の防音が必要なのかを検討することが重要課題なのです。さらに防音設備に用いられる素材の多くは断熱効果と省エネルギー一面も期待できるため、他方面からとらえてみることも大切です。既存の部屋を防音に変える場合、壁の取り壊し費用も考慮しなければなりません。その場合間仕切りが効果的です。また防音のためにデッドスペースが生まれることもあり、スペースの活用を考えると、防音設備は場所をとらない移動式のものの方が有効です。



## 音(デシベル)の大きさによる人と生活への影響



# が必要です。

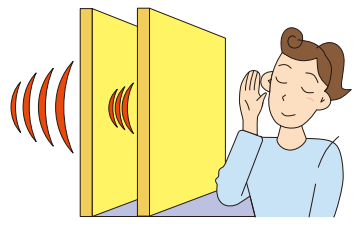
## （効果的な防音のポイントとは？）

### 多重構造にする

壁の厚みを増やせば確かに透過音は小さくなりますが、2倍の防音効果を得るには、その倍に当たる4倍の厚さが必要になります。ですから遮音性能を得るためには、いろいろな工夫が必要となります。

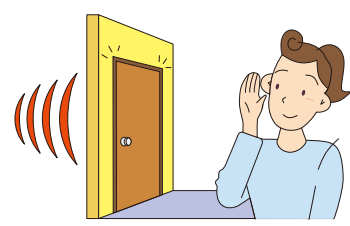
例えば、30dBの音響透過損失（遮音性能）を持つ壁を、一つは2倍に、もう一つは同じ厚さの壁を離して2枚置いた場合、厚さを2倍にしても、その音響透過損失は35dbにしかなりませんが、多重構造（離して2枚置く）にすれば60dBまで効果を発揮します。つまり屋外との境界に廊下を設けたりフロア内部を間仕切ることにより遮音効果は高まります。さらに壁自体も表面は

スチールなどの重い素材を用い、内部に多孔質で吸音性のあるグラスウールなどの素材を使用した構造物を選ぶこともポイントです。

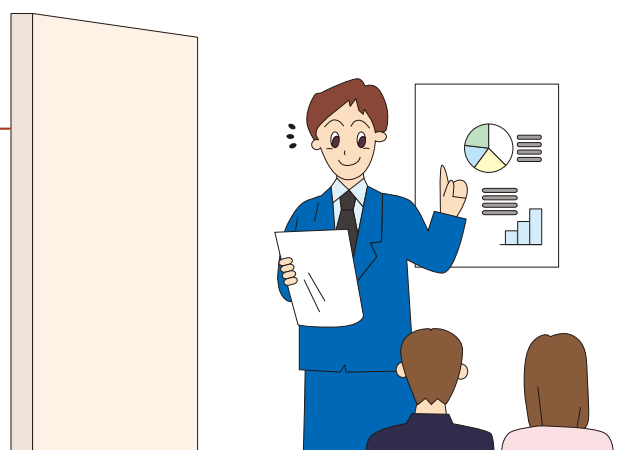
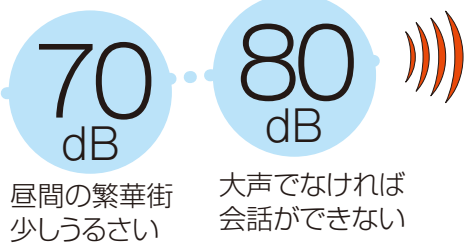


### 隙間を作らない

音の伝わり方は空気を振動させて「波」をつくり、その波が私たちの耳に到達しています。ですから壁などに反射・吸収されなかった音（波）がそれを乗り越えたり、またわずかな隙間からもれたりすれば、音として耳に聞こえるのです。この現象を「回折現象」といい、壁自体が遮音性能にすぐれていても、ドアの遮音性能がなかったり、他に開口部があれば、そこから集中的に音は逃げだし、時として雑音になるわけです。結論として間仕切りを設置する際には、天井や床との密着をきちんと保ち、隙間を作らないことです。



BX



※SS-65施工時の算出例です。



# 当社独自のレールとランナーで、操作も簡単・手軽。 また収納幅も、わずかなスペースでOKです。

## 安定したパネル走行で、らくらく操作。

一般タイプは操作が容易で、つねに安定したパネル走行を保つよう設計されていますので、少しの力でらくらく操作ができます。またランニングタイプの大型移動壁の場合でも、少人数で操作・設置が可能。スピーディーに必要な空間をつくり出すことができます。

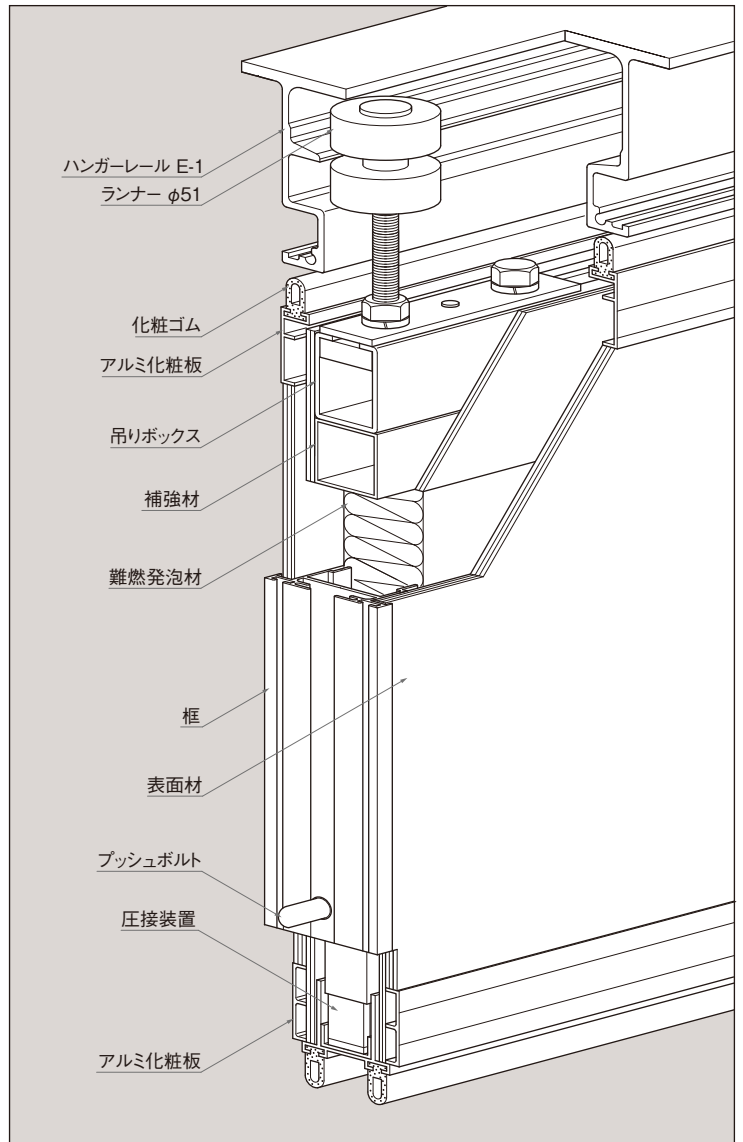
## 優れた遮音性の SS&RWシリーズ。

宴会場やホテル・結婚式場、コンベンションホールなど集客数が非常に多く、またマイク等を必要とする場所には、高度な遮音性能が必要とされます。SSシリーズやRWシリーズには石膏ボードやグラスウールなど、遮音性の高い素材を採用しています。

## パネル式だから、 格納スペースもすっきり。

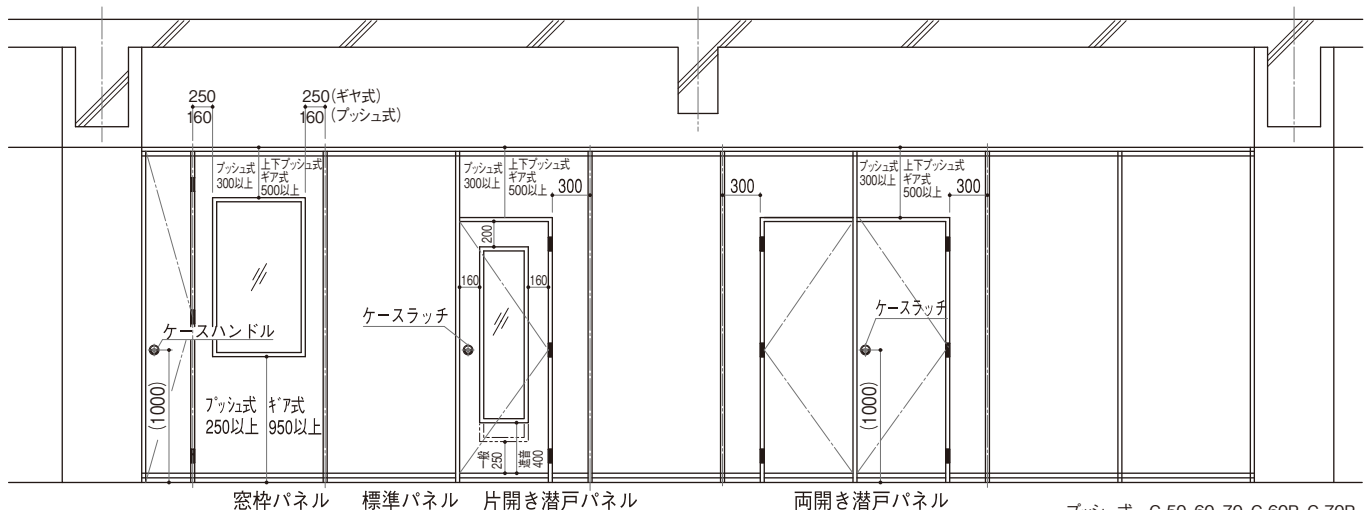
一つひとつが独立したパネル\*ですから、一枚分の幅と枚数分の奥行があれば、すべてのパネルが収納OK。しかもレールを移動して一カ所に格納するので、出し入れはもちろん、間仕切りの設置も簡単・手軽です。

\*RW-特注床の間タイプは除く



## ■パネルの種類

標準パネル、片開き潜戸パネル、両開き潜戸パネルから用途に合わせて御自由にお選びください。(数字は最小寸法です)

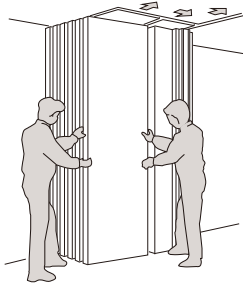


※遮音タイプの場合、シールド付きパネルには潜戸を設置することはできません。

プッシュ式 C-50, 60, 70, C-60P, C-70P  
ギア式 C-60J, C-70J, SS-65, SS-85, SS-105, SS-115

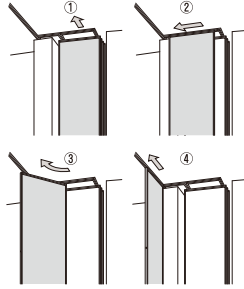
## 操作手順 ギヤ式

①



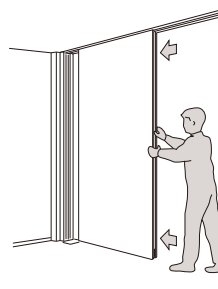
① 収納されている先頭パネルの操作ハンドル孔へ操作ハンドルを差し込み、左方向に1~2回程度回転させて圧接機構を解除し、収納庫から先頭パネルを静かに平行に引き出します。収納する場合、最後のパネルは必ずジャッキ操作でパネルが動かないように固定してください。

②



② レール交差部では、ランナーが交差点に入ったのを確認してから移動させます。パネルは①~④の順序で収納庫より引き出します。

③



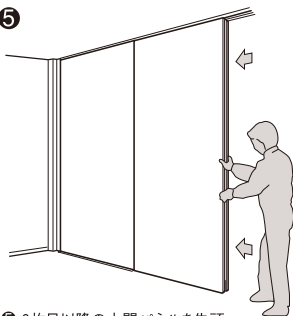
③ 固定場所に移動した先頭パネルを、壁またはサイドフレームに静かに押し当てます。

④



④ 先頭パネルの操作ハンドル孔へ操作ハンドルを差し込み、右方向に1~2回程度回転させます。回転が重くなったら操作を止めてください。上下のシール材がレールと床に圧接されます。

⑤



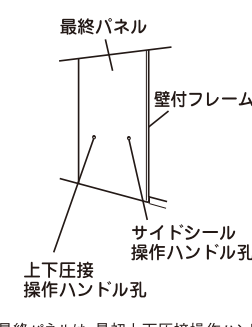
⑤ 2枚目以降の中間パネルを先頭パネルに静かに押しあてます。

⑥



⑥ 中間パネルの操作ハンドル孔へ操作ハンドルを差し込み、右方向に1~2回程度回転させます。回転が重くなったら操作を止めてください。上下のシール材が床に圧接されます。以下同様に中間パネルを設置します。

⑦



⑦ 最終パネルは、最初上下圧接操作ハンドル孔に操作ハンドルを差し込み右に回して、上下圧接が床とレールに接する手前で一旦止めます。次にサイドシール操作ハンドル孔に操作ハンドルを差し込んで右に回して、サイドシールを出し壁面のフレームに接させます。

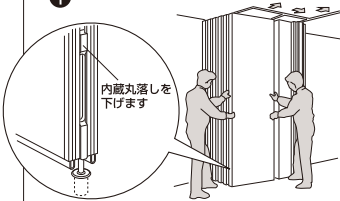
⑧



続いて上下操作ハンドル孔に操作ハンドルを差し込んで回転が重くなるまで回し、床とレールに密着させます。ドアパネルがある場合は、ドアパネルを開め、施錠ができることを確認します。以上でパネルの設置固定は終了です。

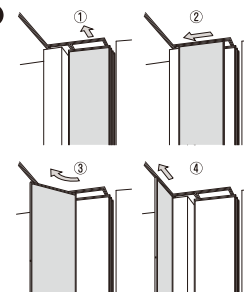
## 操作手順 プッシュ式

①



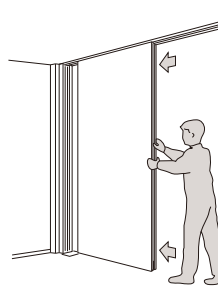
① 収納されている先頭パネルの丸落しをあげて解除し、収納庫から先頭パネルを静かに平行に引き出します。収納する場合、最後のパネルは必ず丸落としを下げた状態で動かさないようにしてください。

②



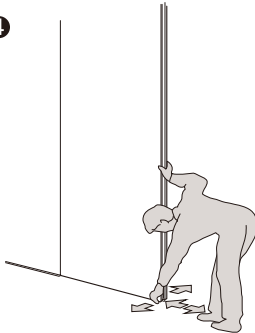
② レール交差部では、ランナーが交差点に入ったのを確認してから移動させます。パネルは①~④の順序で収納庫より引き出します。

③



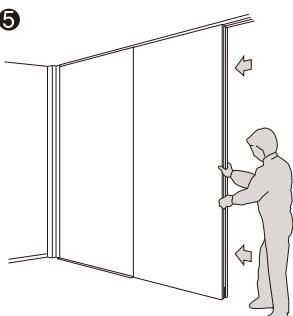
③ 固定場所に移動した先頭パネルを、壁またはサイドフレームに静かに押し当てます。

④



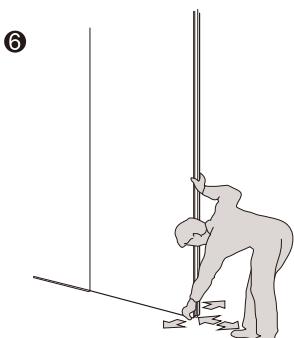
④ 先頭パネルの丸落としを床の落としツボに合わせて差し込みます。収納する場合、丸落としに荷重がかかっているため、パネルを押し下げて丸落としに荷重がかからないようにしてから抜いてください。

⑤



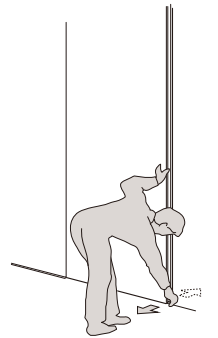
⑤ 2枚目以降の中間パネルを、先頭パネルに静かに押しあてます。その際、先に固定したパネルの召し合わせミジにプッシュボルトがちゃんと入っているか確認してください。

⑥



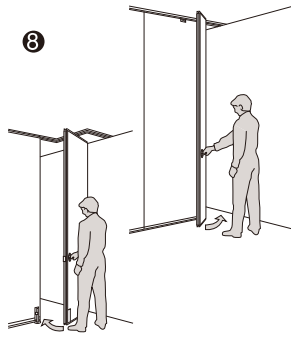
⑥ 中間パネルを前のパネルに押し付けながら、丸落としを床の落としツボに合わせて差し込みます。以下同様に中間パネルを設置します。

⑦



⑦ 最終パネルを前のパネルに押し付けながら、丸落としを床の落としツボに合わせて、差し込みます。

⑧



⑧ 最後のパネルが丁番りの親子パネルのときは、親パネルの丸落としを固定してからパネルを開きます。最後のパネルが軸吊りパネルのときは、前のパネルのラッチ受けにラッチを合わせてセットします。

C-50、C-60、C-60P、C-60J、C-70、C-70P、C-70J

## 一般タイプ Cシリーズ

操作性と機能性に優れた軽量設計。  
幅広い分野で、スペースの有効活用を実現します。





## 特長

Cシリーズはパネルが水平・垂直に稼働。設置する場所や目的・用途に応じてお選びください。パネル厚は3タイプをご用意。オフィスや学校、公共機関などで、遮音性より機能性を重視し、単に間仕切ることで空間を作り出す場合には、パネル厚60mm以上のものが最適です。

### ■表面材 カラー鋼板 標準色



BS-1=BK5212 クリームホワイト

BS-2 スノーホワイト

※オーダー指定色による塗装も可能です。

### ■レール種類(詳細 P.50)



C-50.60.70用  
クロス走行レール・吊車 E-1

C-50.60.70用  
クロス走行レール・吊車E-0

## 仕様

		仕 様	C-50	C-60 C-60P C-60J	C-70 C-70P C-70J
製作可能寸法	パネル幅	最 小 幅	製作可能寸法は P.40「タイプ別パネル製作範囲表」を ご参照ください。		
		最 大 幅			
	パネル高	最 低 丈			
最 高 丈					
パネル1枚	最大製作可能重量	120kg	100kg(C-60P,C-60J) 150kg	100kg(C-70P,C-70J) 150kg	
厚 さ	框 寸 法	54mm	60mm	70mm	
	パ ネ ル 厚 見 込	46~49mm	52mm~56mm	62mm~66mm	
パネ ー ル 重 量 kg/m <sup>2</sup>	ラワン合板4.0t 5.5t	14kg/m <sup>2</sup>	16kg/m <sup>2</sup>	17kg/m <sup>2</sup>	
	シナ合板5.5t	14kg/m <sup>2</sup>	16kg/m <sup>2</sup>	17kg/m <sup>2</sup>	
	ポリエステル化粧合板4t	14kg/m <sup>2</sup>	16kg/m <sup>2</sup>	17kg/m <sup>2</sup>	
	焼付鋼板0.6t	26kg/m <sup>2</sup>	27kg/m <sup>2</sup>	29kg/m <sup>2</sup>	
	ケイカル板6t	20kg/m <sup>2</sup>	22kg/m <sup>2</sup>	24kg/m <sup>2</sup>	
芯 材	難燃発泡材	38mm	44mm	54mm	
	グラスウール	24kg/m <sup>3</sup>	24kg/m <sup>3</sup>	24kg/m <sup>3</sup>	
召 合 せ 框	標 準	アルミ	アルミ	アルミ	
表 装 材	標 準	選択自由	選択自由	選択自由	
圧 接 装 置	標 準	プッシュ式 下部圧接	※1 プッシュ式下部圧接(C-60、70) プッシュ式上下圧接(C-60P、70P) ギア式上下圧接(C-60J、70J)		
ハンガーレール	標 準	アルミ	アルミ	アルミ	
ラ ン ナ ー	標 準	樹 脂 ランナー	樹 脂 ランナー	樹 脂 ランナー	
格 納 方 法	標 準	4種類	4種類	4種類	
特 殊 組 込	ホワイトボード、黒板、潜戸、ガラリ、窓、掲示板、他				

※1:C-60J、70Jは圧接方式がギヤ式です。



ケースハンドル



ギヤハンドル(※:C-60J、C-70Jのみ使用)



ハンドル操作口用丸座  
(※:C-60J、C-70Jのみ使用)



丸落とし



内蔵式丸落とし

BX

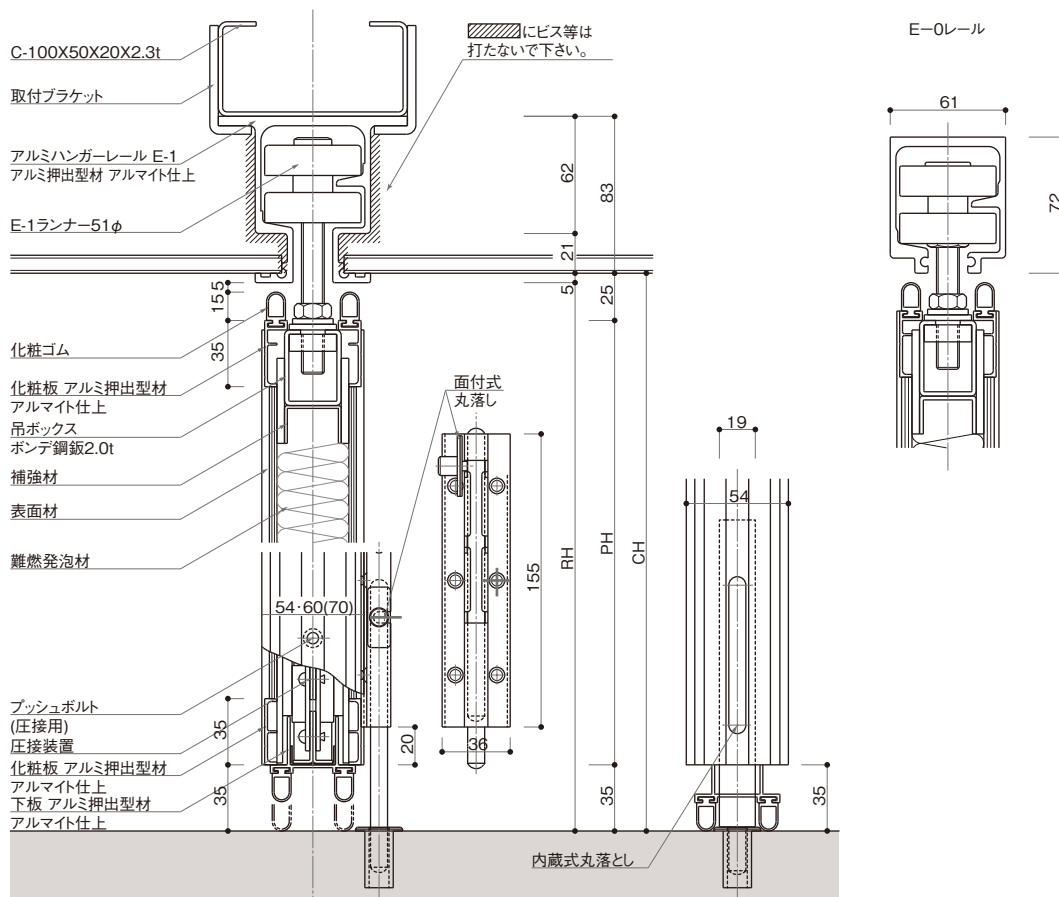
一般タイプ

C-50、C-60、C-70、C-60P、C-70P(上下プッシュ式)

# 一般タイプ Cシリーズ

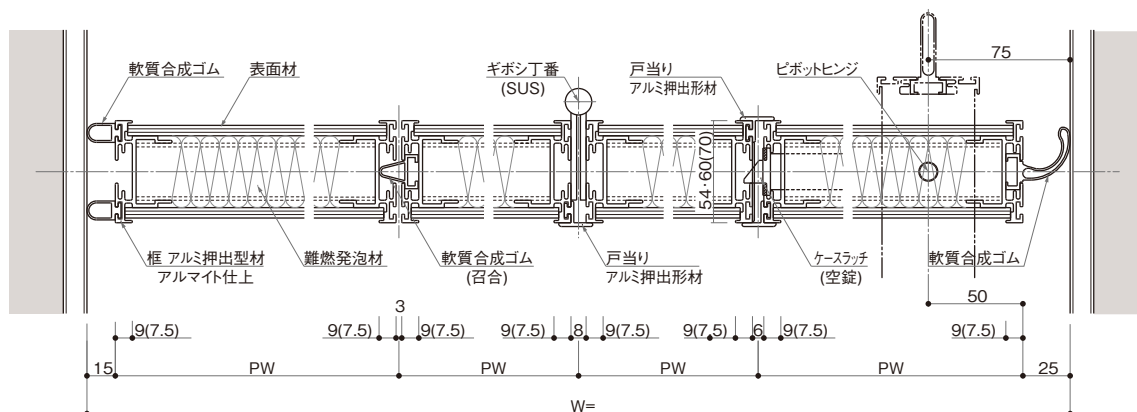
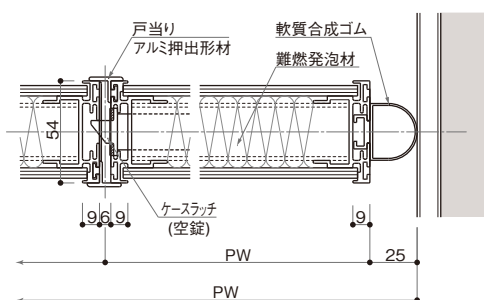
C-50・60・70

## 縦断面図



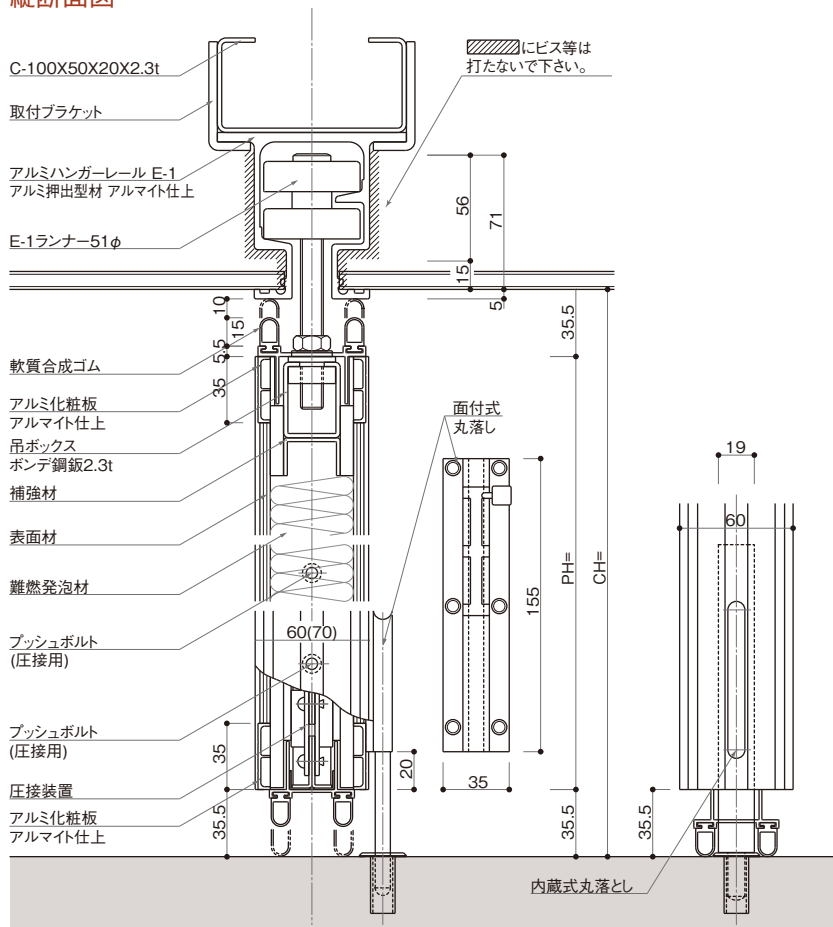
内蔵式丸落とし詳細図

## 横断面図



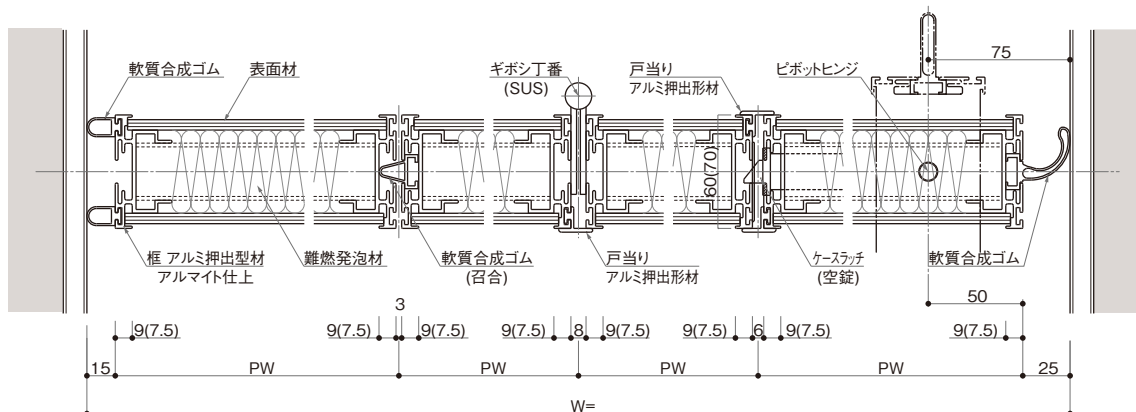
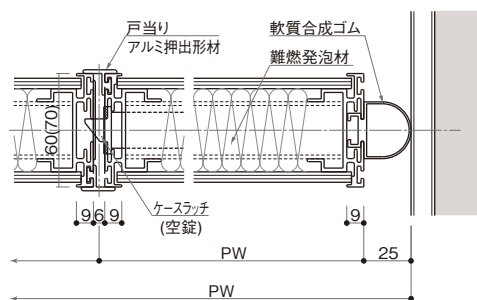
# C-60P・70P

## 縦断面図



内蔵式丸落とし詳細図

## 横断面図



BX

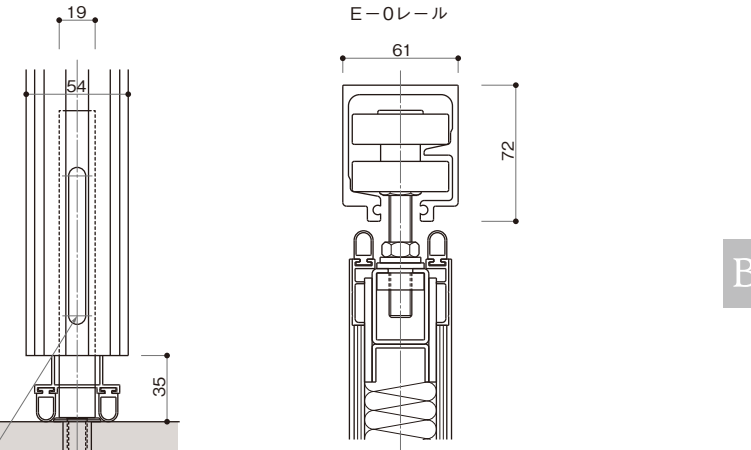
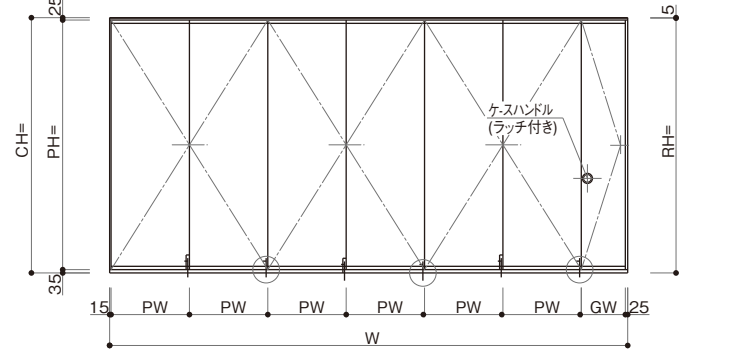
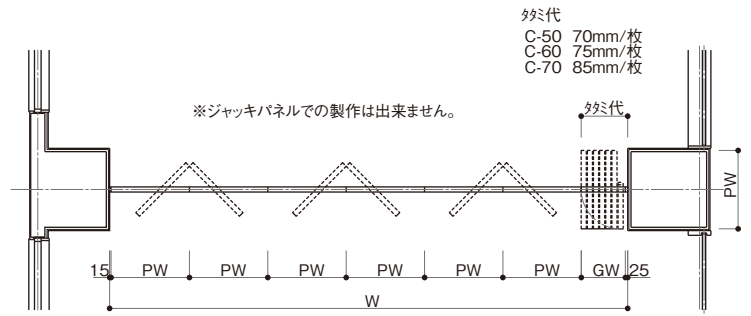
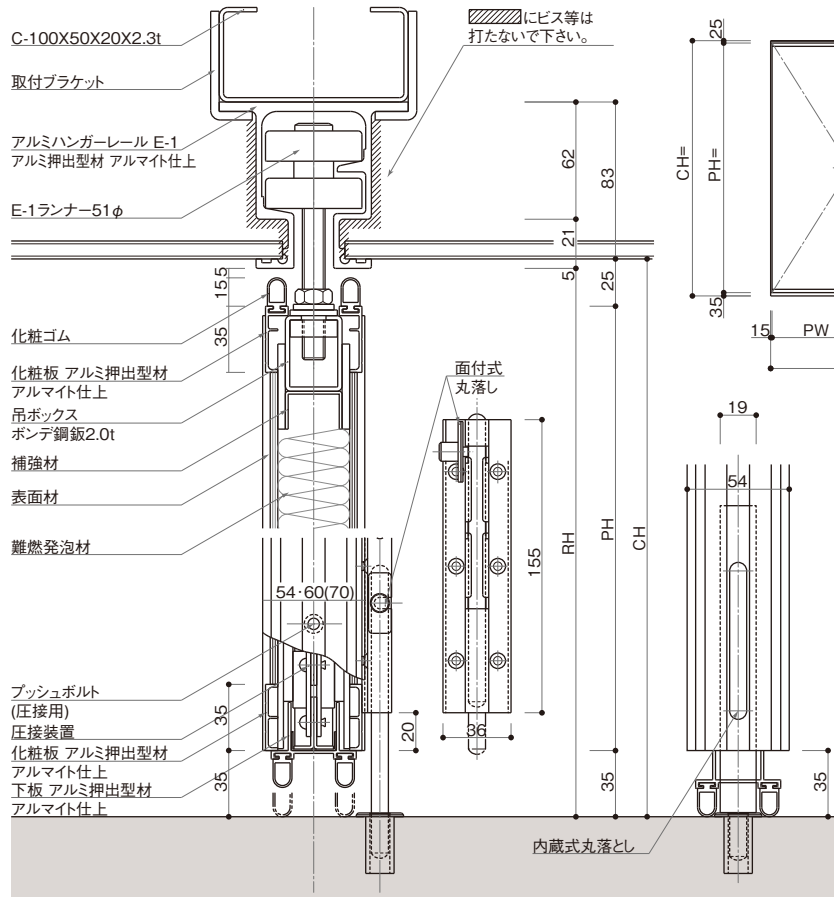
一般タイプ





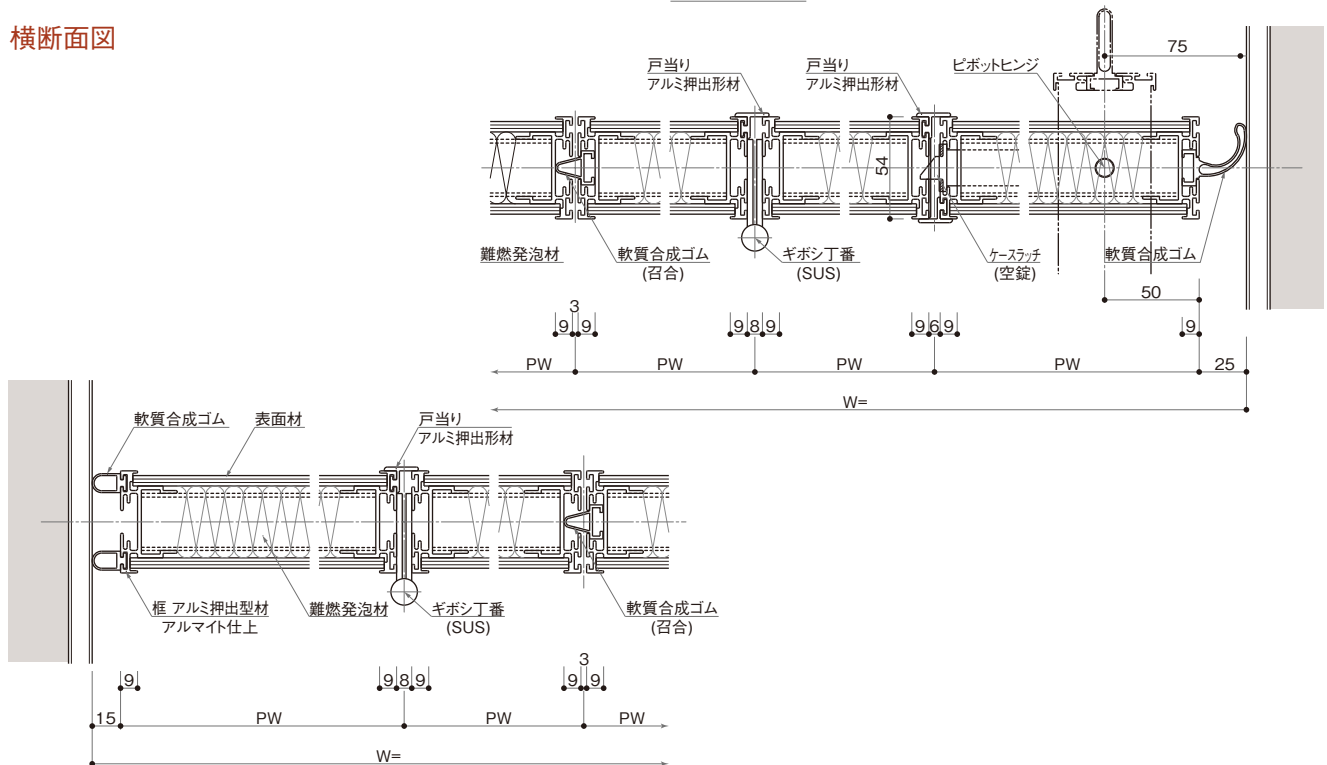
# C-50・60・70ペアパネル

## 縦断面図



内蔵式丸落とし詳細図

## 横断面図

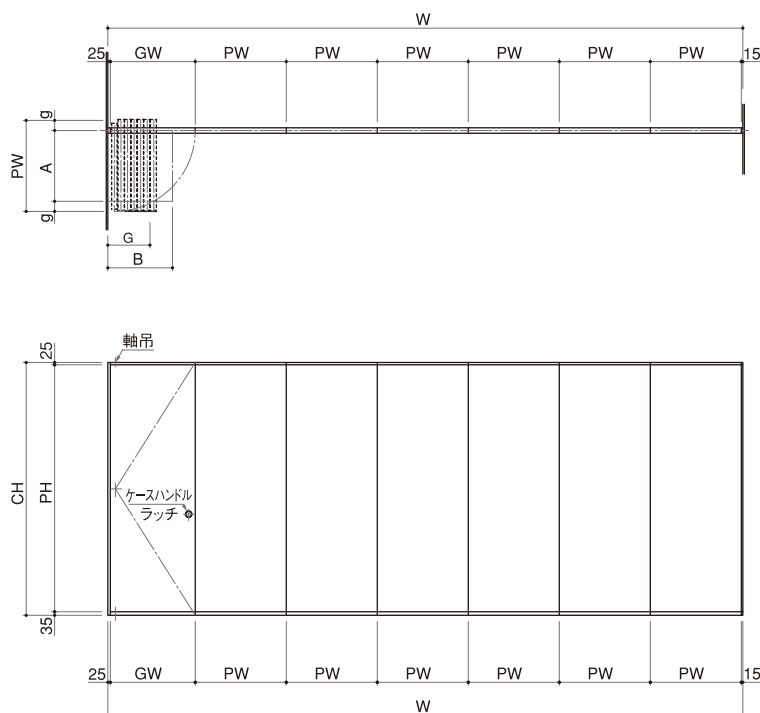


BX

一般タイプ

# 一般タイプ Cシリーズ 格納方法

## 1C型

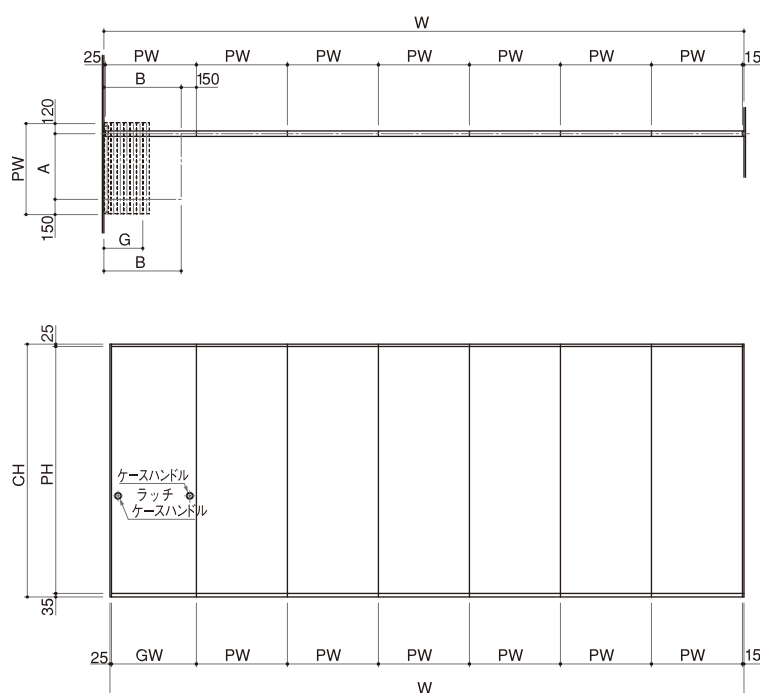


タイプ	タタミ代
C-50	65mm
C-60	70mm
C-70	80mm

PW	$\frac{W - (15 + 25) + 50}{\text{枚数}}$
GW	PW - 50

A	PW - 2g (200)
B	G + 250mm
G	(枚数 - 1) × タタミ代
g	100mm

## 1C型(均等割り)

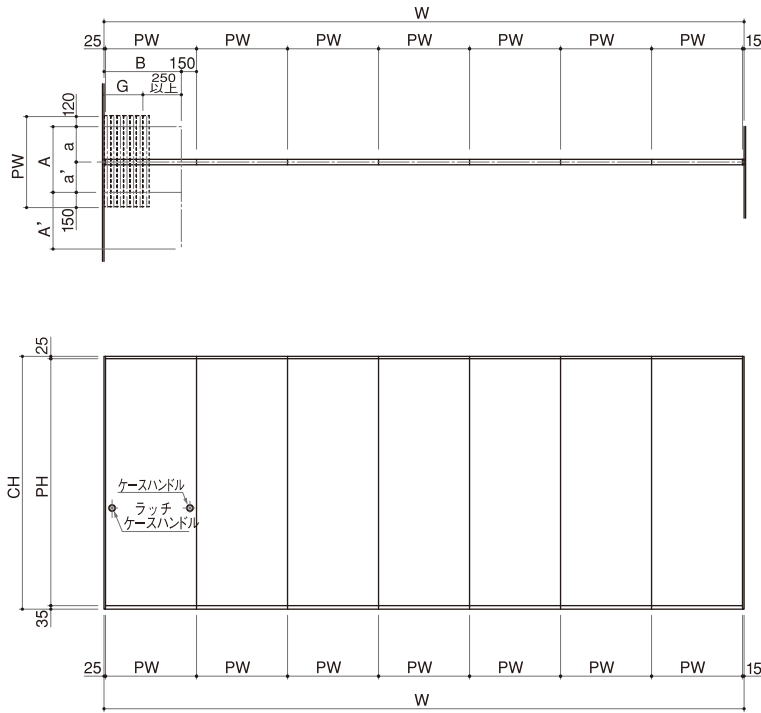


タイプ	タタミ代
C-50	65mm
C-60	70mm
C-70	80mm

PW	$\frac{W - (25 + 15)}{\text{枚数}}$
----	-----------------------------------

A	PW - 250
B	(PW - 150) + 25
G	(枚数 - 1) × タタミ代

## 2CA型



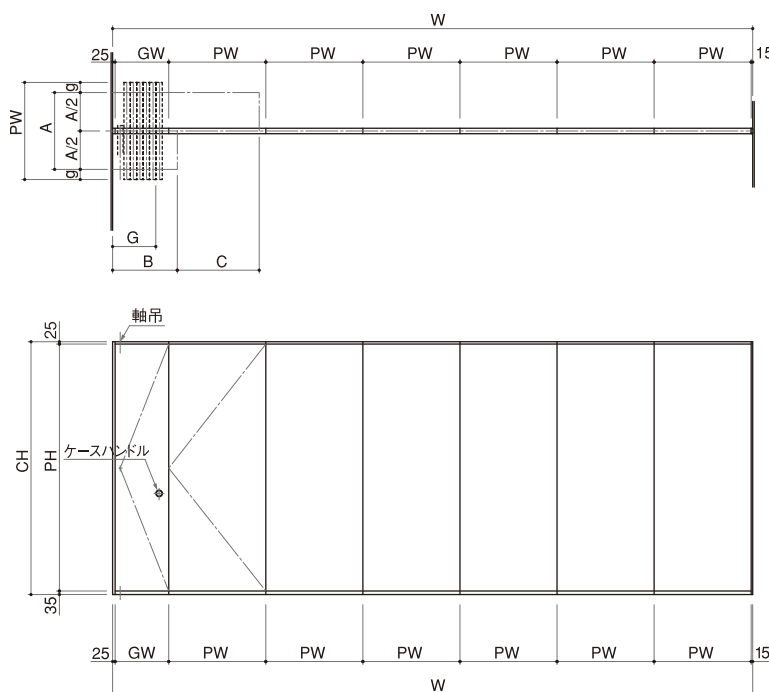
タイプ	タタミ代
C-50	65mm
C-60	70mm
C-70	80mm

PW	$\frac{W - (25 + 15)}{\text{枚数}}$
----	-----------------------------------

A	PW - 250
B	(PW - 150) + 25
G	(枚数 - 1) × タタミ代
A'	a + 100
a	(PW / 2) - 100
a'	(PW / 2) - 150

BX

## 2CB型



タイプ	タタミ代
C-50	65mm
C-60	70mm
C-70	80mm

PW	$\frac{(W - (15 + 25)) - 50}{\text{枚数} - 0.5}$
GW	$\frac{PW}{2} + 50$

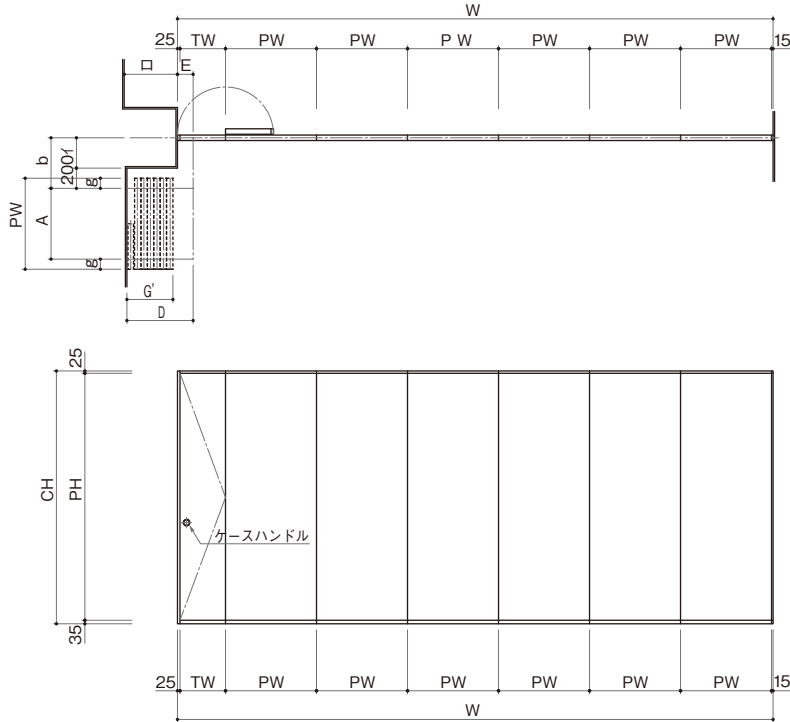
A	PW - 2g (200)
B	G + 250mm
C	A + 50
G	(枚数 - 1) × タタミ代
g	100mm

一般タイプ



# 一般タイプ Cシリーズ 格納方法

## 3C型

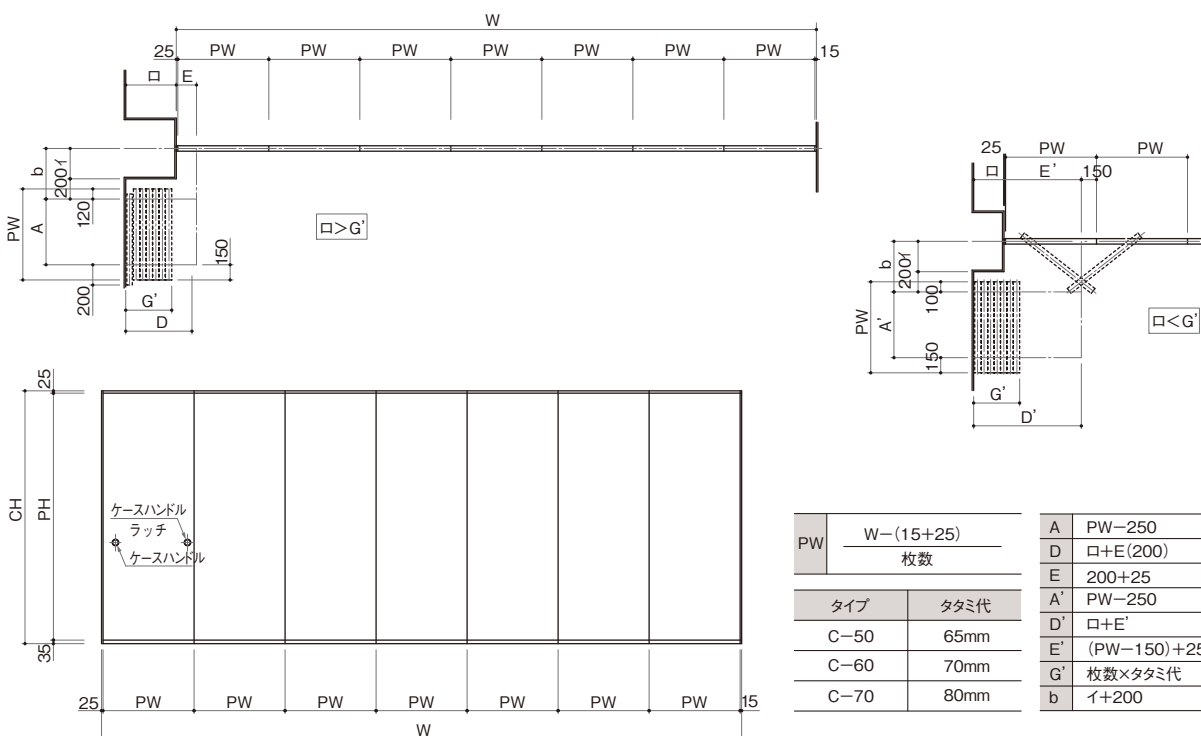


タイプ	タタミ代
C-50	65mm
C-60	70mm
C-70	80mm

PW	$\frac{W-(15+25)}{\text{枚数}-0.5}$
TW	$\frac{PW}{2}$
TW > E	

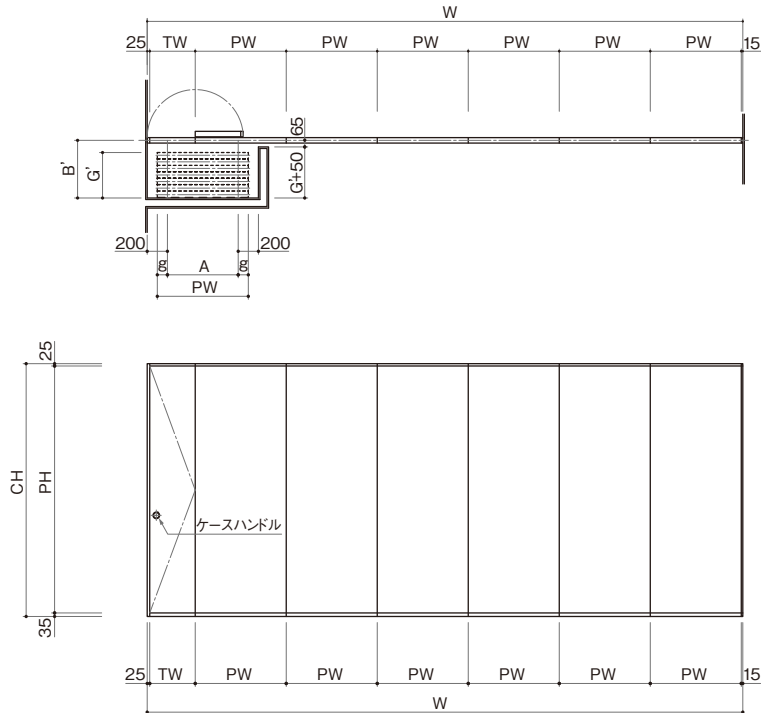
A	PW-2g(200)	
D	$\square+E$	$G'+200$
E	$G'<\square$ 200~250	$G'>\square$ D- $\square$
G	枚数×タタミ代	
b	イ+200	
g	120mm	

## 3C型(均等割り)



PW	$\frac{W-(15+25)}{\text{枚数}}$	A	PW-250
		D	$\square+E(200)$
		E	200+25
タイプ	タタミ代	A'	PW-250
C-50	65mm	D'	$\square+E'$
C-60	70mm	E'	(PW-150)+25
C-70	80mm	G'	枚数×タタミ代
		b	イ+200

## 4CA型



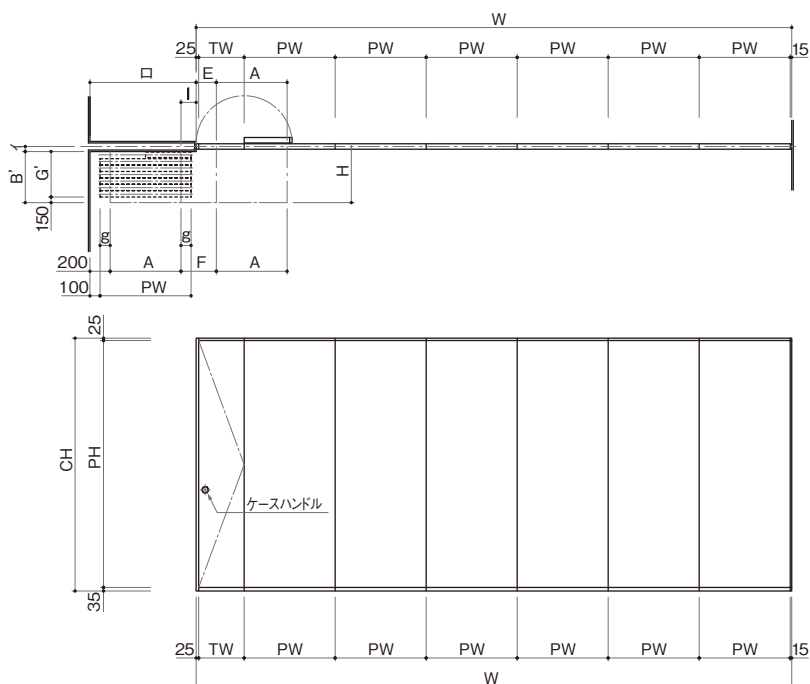
タイプ	タタミ代
C-50	65mm
C-60	70mm
C-70	80mm

PW	$\frac{W-(15+25)}{\text{枚数}-0.5}$
TW	$\frac{PW}{2}$

A	PW-2g(200)
B'	(G'+50)+65
G'	枚数×タタミ代
g	120mm

BX

## 4CB型



タイプ	タタミ代
C-50	65mm
C-60	70mm
C-70	80mm

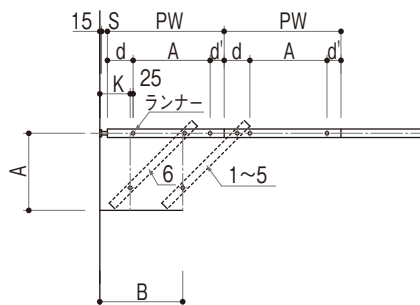
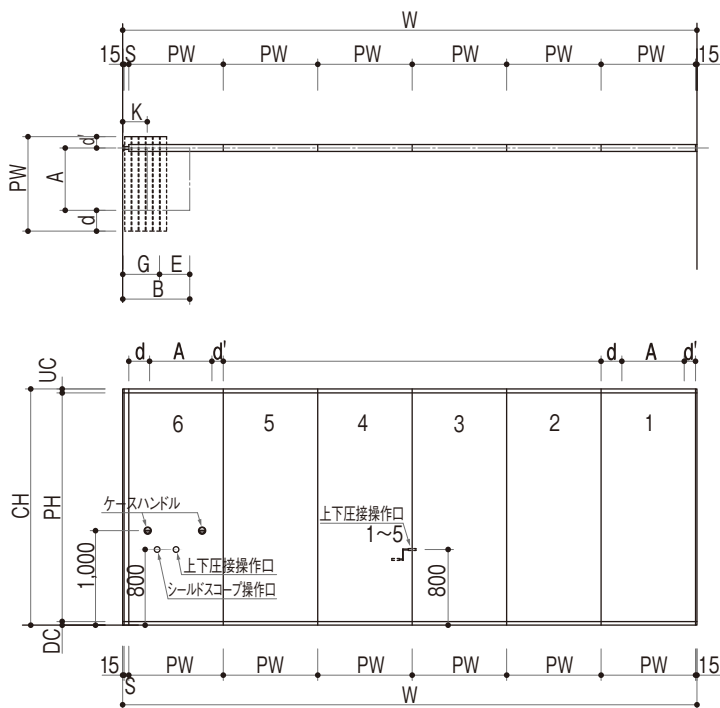
PW	$\frac{W-(15+25)}{\text{枚数}-0.5}$
TW	$\frac{PW}{2}$
TW > E	

A	PW-2g(200)
E	200~250、 $\square > PW+100$
F	E+I
H	I+B'
I	$\square - (A+g(100)+100)$
B'	G'+50
G'	枚数×タタミ代
g	120mm

一般タイプ

# 一般タイプ Cシリーズ 格納方法

## 1C型



		60J、70J	
A		PW-(d+d')	
B		G+300	
G		(枚数-1)×タタミ代	
K		(S[50~60]+15+220)-25	
S		50~60mm(サイドシール)	
d		220mm	
d'		100~120mm	
E		d+100以上	

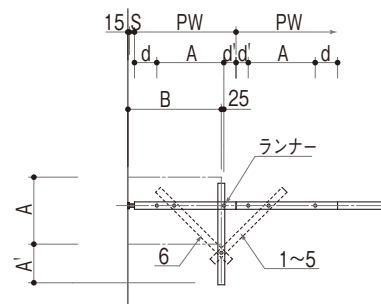
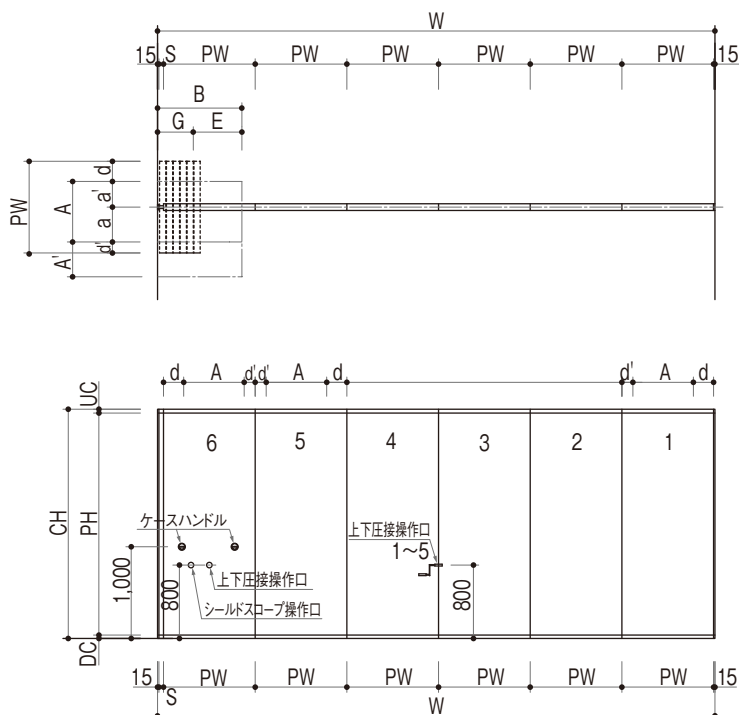
  

	PW	UC	DC
60J	W-(S+15+15) 枚数	32.5	32.5
70J			

タタミ代	60J	70mm/枚
	70J	80mm/枚

## 2CA型



		60J、70J	
A		PW-(d+d')	
B		(PW+S[50~60]+15)·(d'+25)	
G		(枚数-1)×タタミ代	
S		50~60mm(サイドシール)	
A'		a'+100	
a		(PW/2)-d'	
a'		(PW/2)-d	
d		220mm	
d'		100~120mm	
E		d'+100以上	

	PW	UC	DC
60J	W-(S+15+15) 枚数	32.5	32.5
70J			

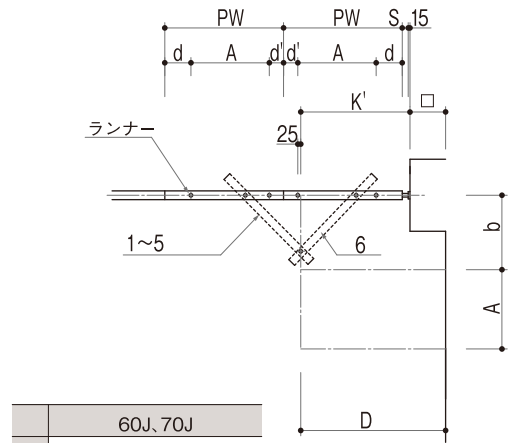
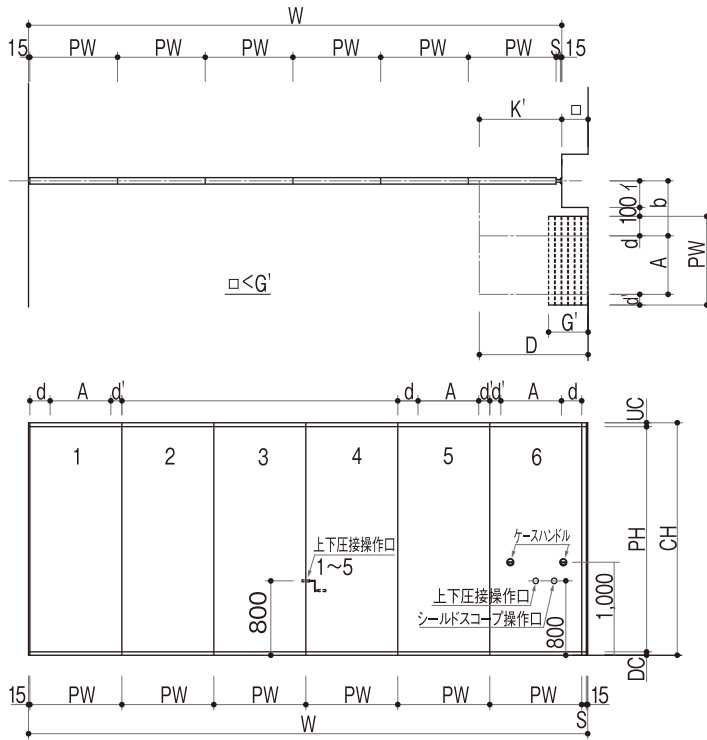
タタミ代	60J	70mm/枚
	70J	80mm/枚





# 一般タイプ Cシリーズ 格納方法

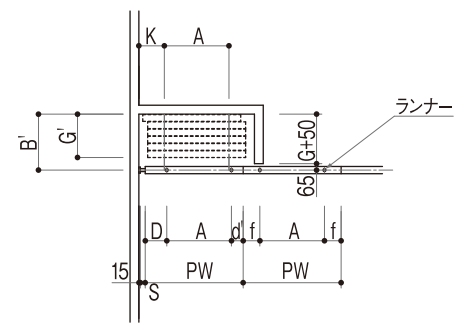
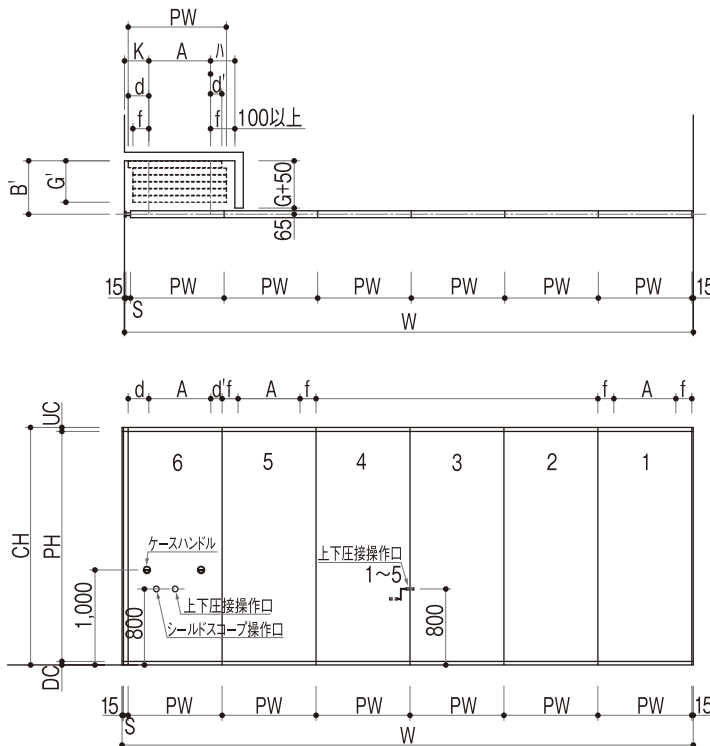
## 3CB型



60J、70J	
A	PW-(d+d')
D	□+K'
S	50~60mm(サイドシール)
G'	枚数×タタミ代
K'	(PW+S[50~60]+15)-(d'+25)
b	1+100+d
d	220mm
d'	100~120mm

	PW	UC	DC
60J 70J	W-(S+15+15) 枚数	32.5	32.5
タタミ代	60J 70J	70mm/枚	80mm/枚

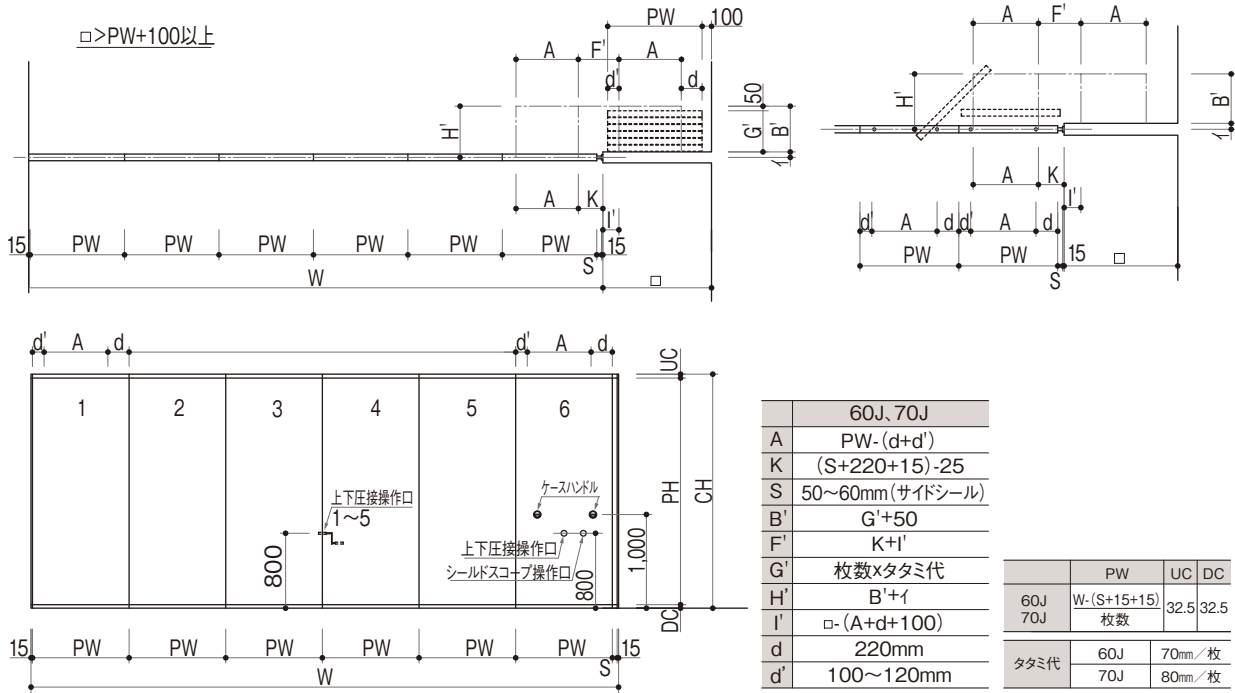
## 4CA型



60J、70J	
A	PW-(d+d')
K	(S[50~60]+15+220)-25
S	50~60mm(サイドシール)
B'	G'+50+65
G'	枚数×タタミ代
d	220mm
f	(PW-A)/2
d'	100~120mm

	PW	UC	DC
60J 70J	W-(S+15+15) 枚数	32.5	32.5
タタミ代	60J 70J	70mm/枚	80mm/枚

4CB型



60J、70J	
A	PW-(d+d')
K	(S+220+15)-25
S	50~60mm(サイドシール)
B'	G'+50
F'	K+I'
G'	枚数×タタミ代
H'	B'+I
I'	□-(A+d+100)
d	220mm
d'	100~120mm

	PW	UC	DC
60J	W-(S+15+15) 枚数	32.5	32.5
70J			
タタミ代	60J	70mm/枚	
	70J	80mm/枚	

BX

SS-65、SS-85、SS-85エッジレス、SS-105、SS-115

# 遮音タイプ SSシリーズ

遮音性の高さで、真の快適さを追求。  
落ち着いた空間づくりに、的確にお応えします。







BX



遮音タイプ

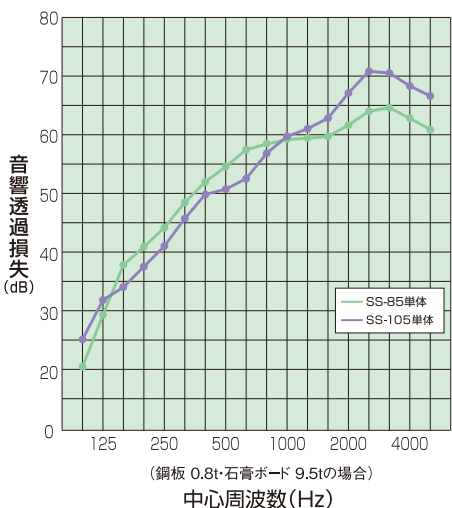
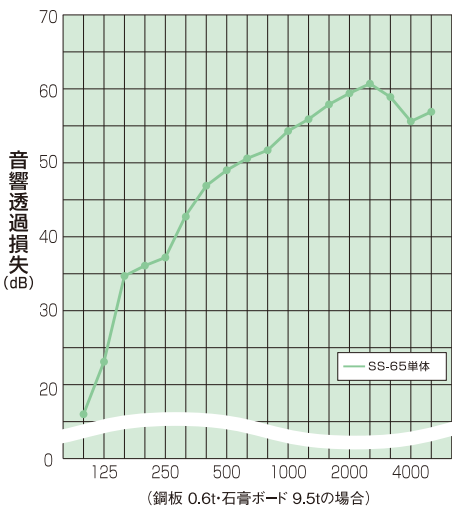


# 遮音タイプ SSシリーズ

## 特長

本タイプの特長は、機能性の高さにあります。表面素材には亜鉛鋼板を採用。また遮音材にはゴムシートを使用し、当社のスライディングウォール商品群の中でも、抜群の遮音性能を誇ります。さらに音漏れや、外からの音の侵入を防止するため、密閉性の面も充分に考慮。パネル本体を所定の位置に設置した後、独自に開発した圧接装置で天井・床・壁との隙間を確実にふさぎます。操作はハンドルを取り付け、回転するだけの簡単操作。クイック&スピーディーに、パネルの固定・解除が行えます。

透過損失試験データ  
(音響透過損失測定表)



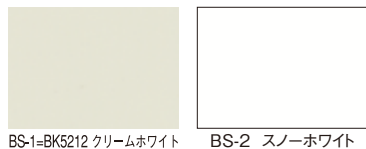
※実験室でのデータと現場では諸々の条件により異なることがありますのでご注意ください。

## 仕様

		仕 様	SS-65	SS-85	SS-85 エッジレス	SS-105	SS-115
製作 可能 寸法	パネ ル 幅	最 小 幅	製作可能寸法は P.40「タイプ別パネル製作範囲表」を ご参照ください。				900mm
		最 大 幅					3000mm
	パネ ル 高	最 低 丈					2000mm
		最 高 丈					8000mm
パネ ル 1 枚	最大製作 可能重量	250kg	300kg	300kg	300kg	1000kg	
厚 さ	框 寸 法	73mm	85mm	80mm	105mm	123mm	
	パネ ル 厚 見 込 み	68mm	80mm	80mm	100mm	116mm	
パ ネ ル 構 造	パネ ル 重 量 kg/m <sup>2</sup>	ラワン合板9.0t	27kg/m <sup>2</sup>	29kg/m <sup>2</sup>	—	31kg/m <sup>2</sup>	41kg/m <sup>2</sup>
		シナ合板9.0t	27kg/m <sup>2</sup>	29kg/m <sup>2</sup>	—	31kg/m <sup>2</sup>	41kg/m <sup>2</sup>
		亜鉛メッキ鋼板 0.6t ~1.6t	43kg/m <sup>2</sup> (0.6t)	45kg/m <sup>2</sup> (0.8t)	45kg/m <sup>2</sup> (0.8t)	47kg/m <sup>2</sup> (0.8t)	75kg/m <sup>2</sup> (1.6t)
		焼付鋼板 0.6t ~1.6t	43kg/m <sup>2</sup> (0.6t)	45kg/m <sup>2</sup> (0.8t)	—	47kg/m <sup>2</sup> (0.8t)	75kg/m <sup>2</sup> (1.6t)
		ケイカル板 6.0t	28kg/m <sup>2</sup>	30kg/m <sup>2</sup>	—	32kg/m <sup>2</sup>	42kg/m <sup>2</sup>
		セイン強化ボード8.0t	42kg/m <sup>2</sup>	44kg/m <sup>2</sup>	—	46kg/m <sup>2</sup>	56kg/m <sup>2</sup>
		プラスチックボード9.5t	30kg/m <sup>2</sup>	32kg/m <sup>2</sup>	—	34kg/m <sup>2</sup>	45kg/m <sup>2</sup>
		芯材(遮音材)	ゴ ム シ ー ト	—	1mm	1mm	1mm
召 合 せ 框	標 準	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	
	表 装 材	標 準	選択自由	選択自由	選択自由	選択自由	
	圧 接 装 置	標 準	ギヤ式	ギヤ式	ギヤ式	ギヤ式	
ラ ン ナ ー	標 準	樹脂ランナー ヘアリングランナー	樹脂ランナー ヘアリングランナー	樹脂ランナー ヘアリングランナー	樹脂ランナー ヘアリングランナー	樹脂ランナー ヘアリングランナー	
	格 納 方 法	標 準	4種類	4種類	4種類	4種類	
特 殊 組 込	標 準	ホワイトボード、黒板、潜戸、ガラリ、窓、掲示板、他					

※鋼板以外の遮音データはございません。  
※潜戸、ガラリ、窓をパネルに組込んだ場合は、遮音性能が低下します。

### ■表面材 カラー鋼板 標準色



※オーダー指定色による塗装も可能です。  
SS-85エッジレスは除きます。

### ■カラーバリエーション(枠材)

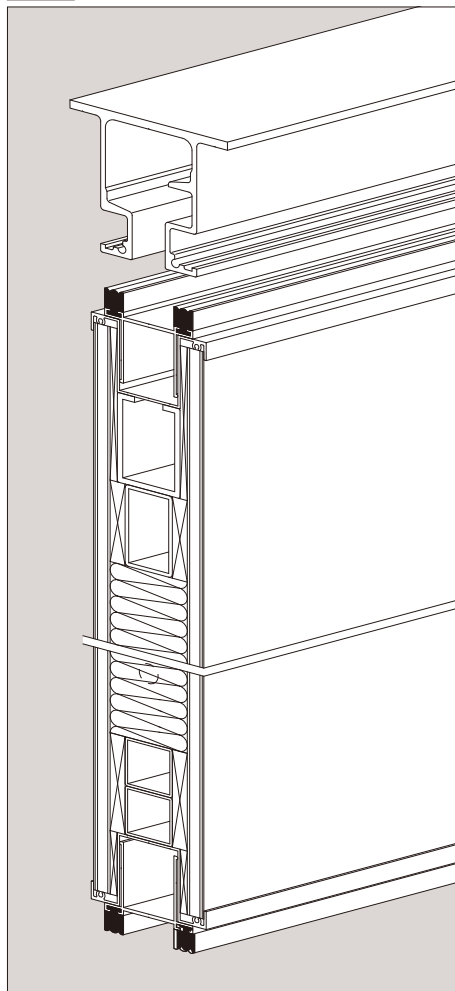
標準色はアルミシルバーです。 ※焼付塗装もオーダーで可能です。



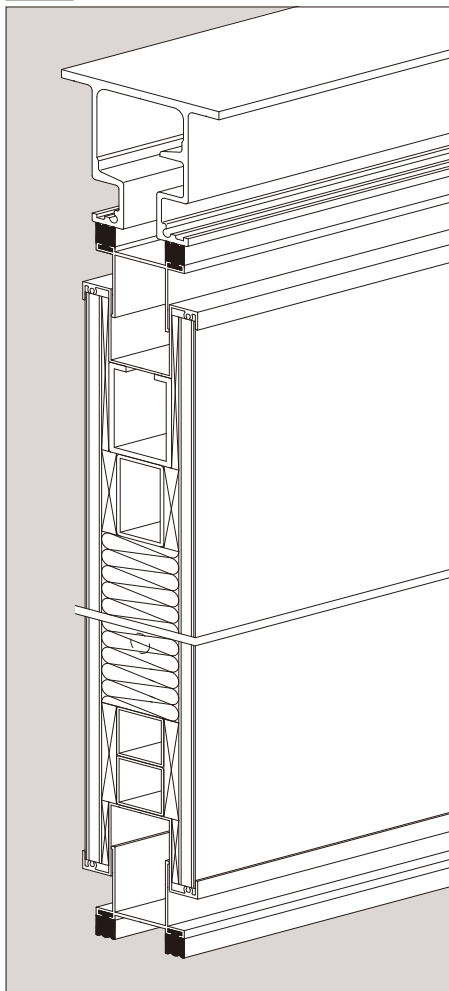
■SSシリーズ パネル圧接装置

遮音性を高めるために圧着シーンをギヤで作動し、レール、床、壁に固定します。

移動時



接床時



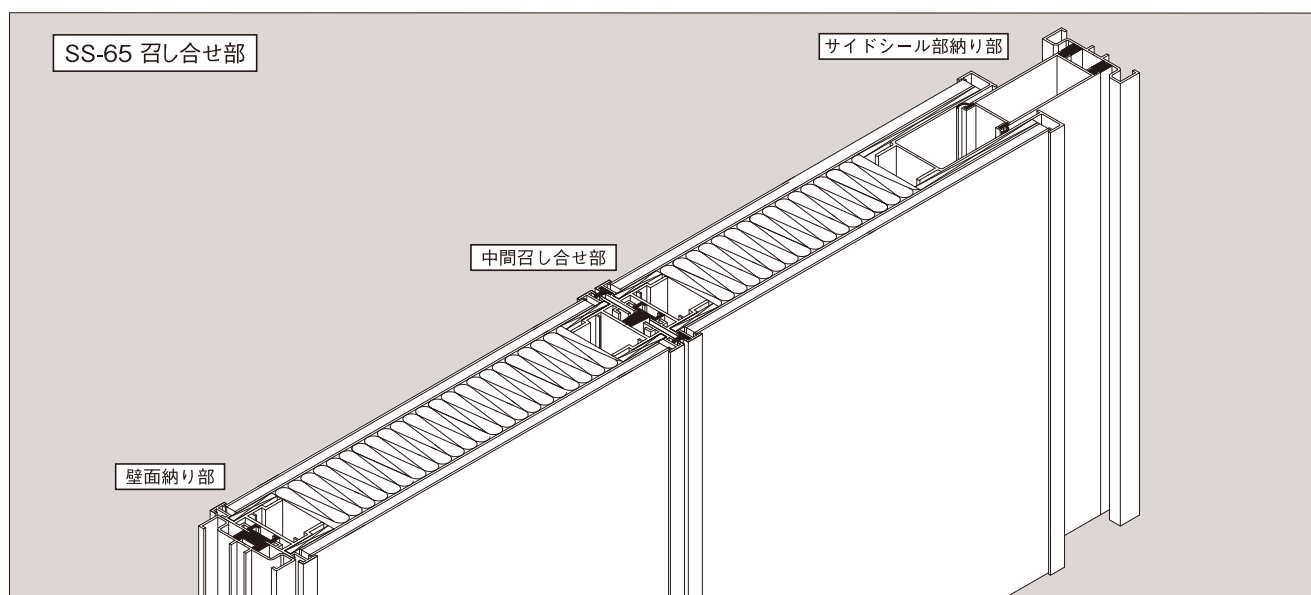
クロス走行レール・吊車 E-1



クロス走行レール・吊車 E-2



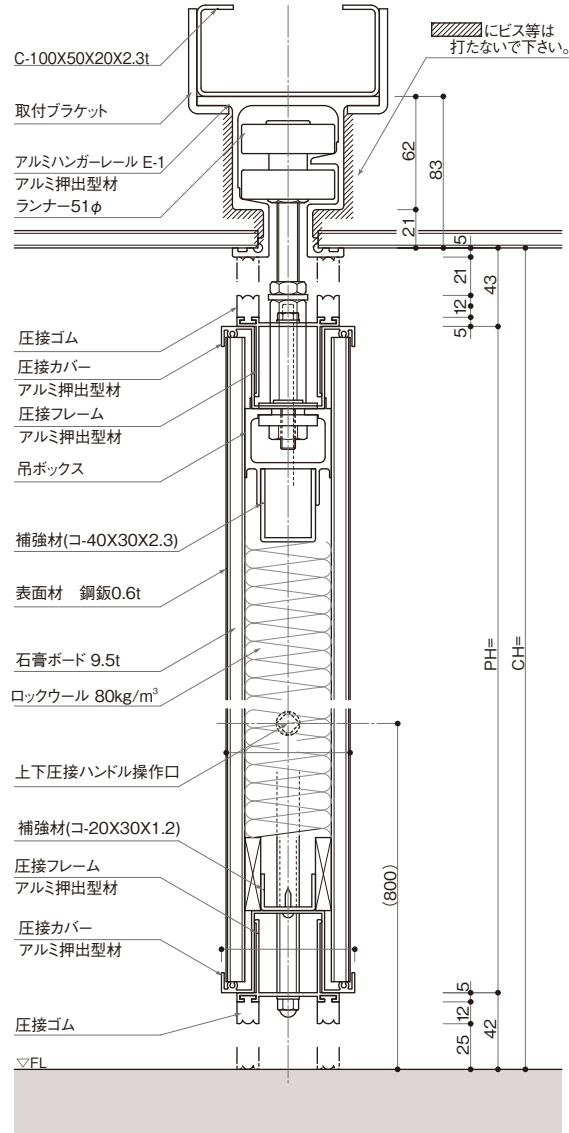
BX



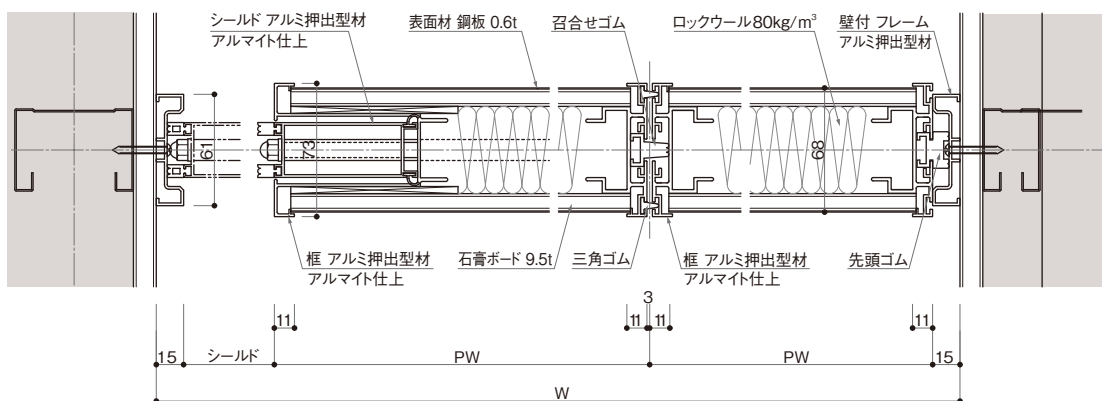
# 遮音タイプ SSシリーズ

## SS-65

縦断面図



横断面図



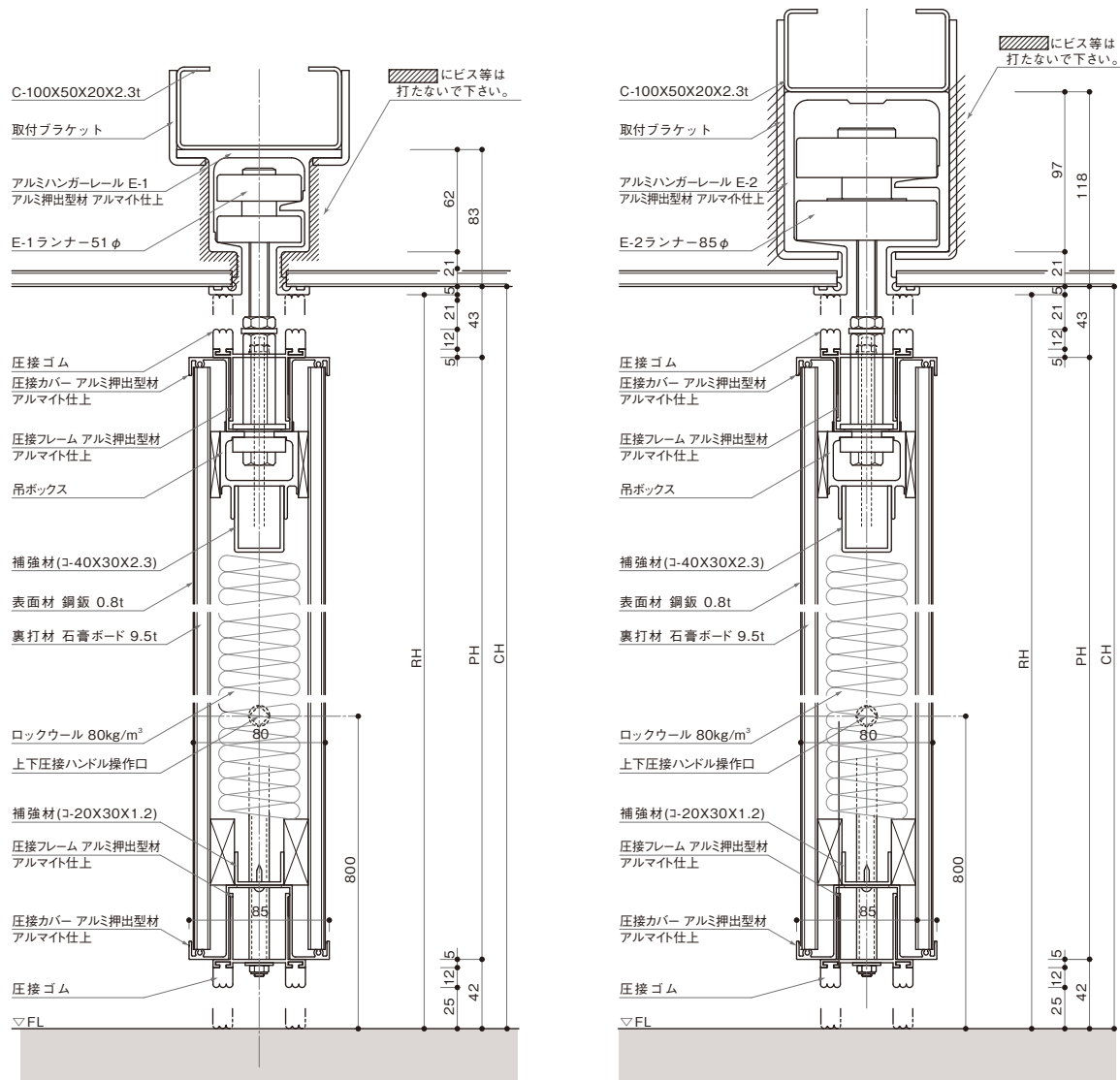




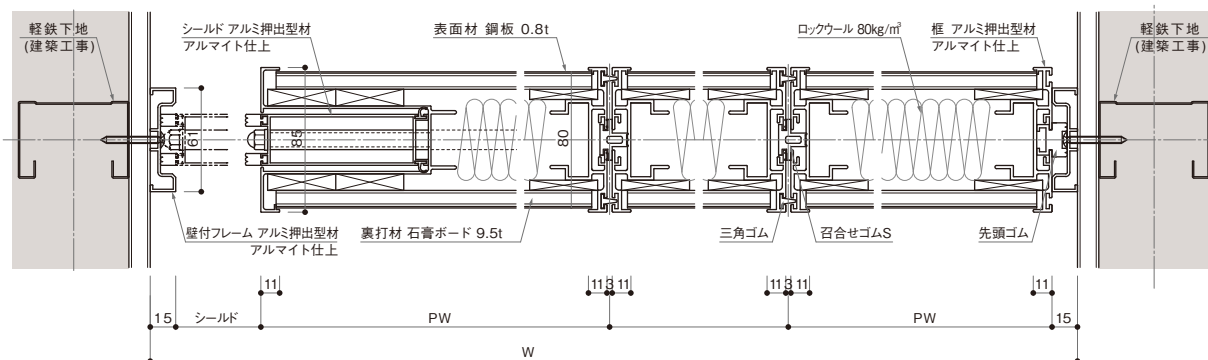
# 遮音タイプ SSシリーズ

## SS-85

縦断面図

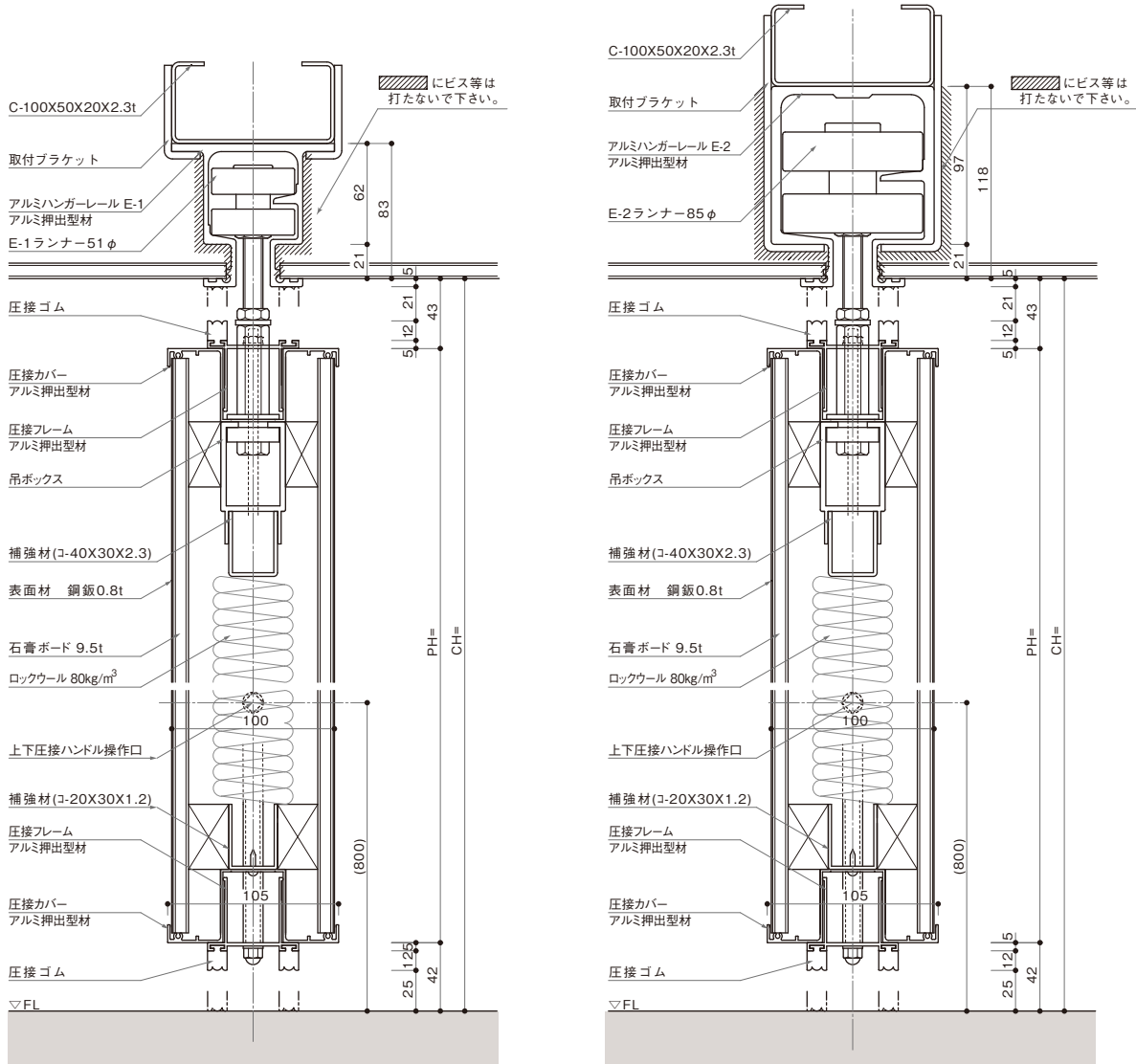


横断面図

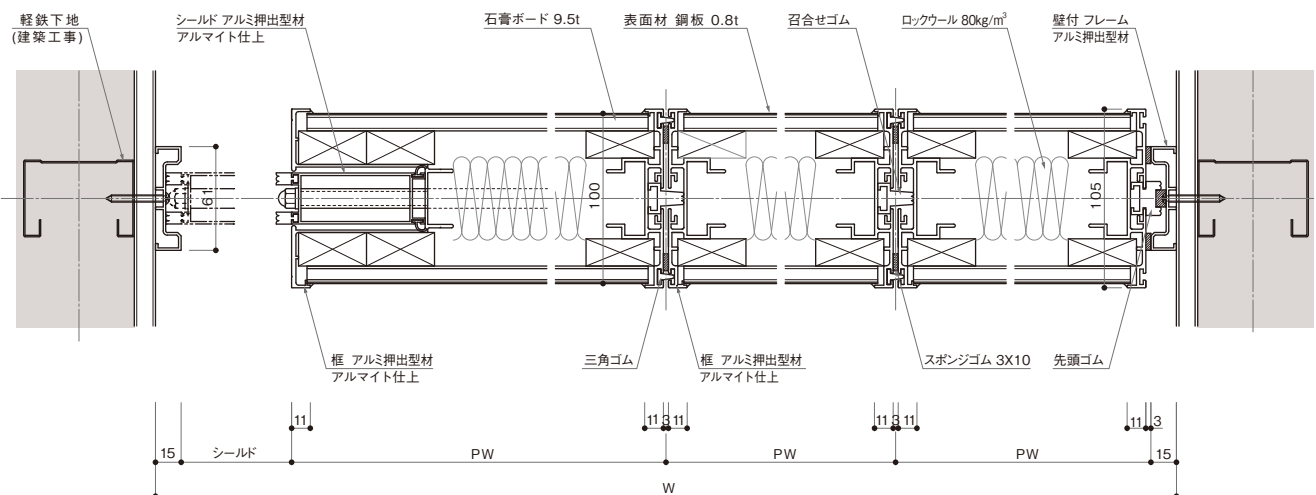


# SS-105

## 縦断面図



## 横断面図



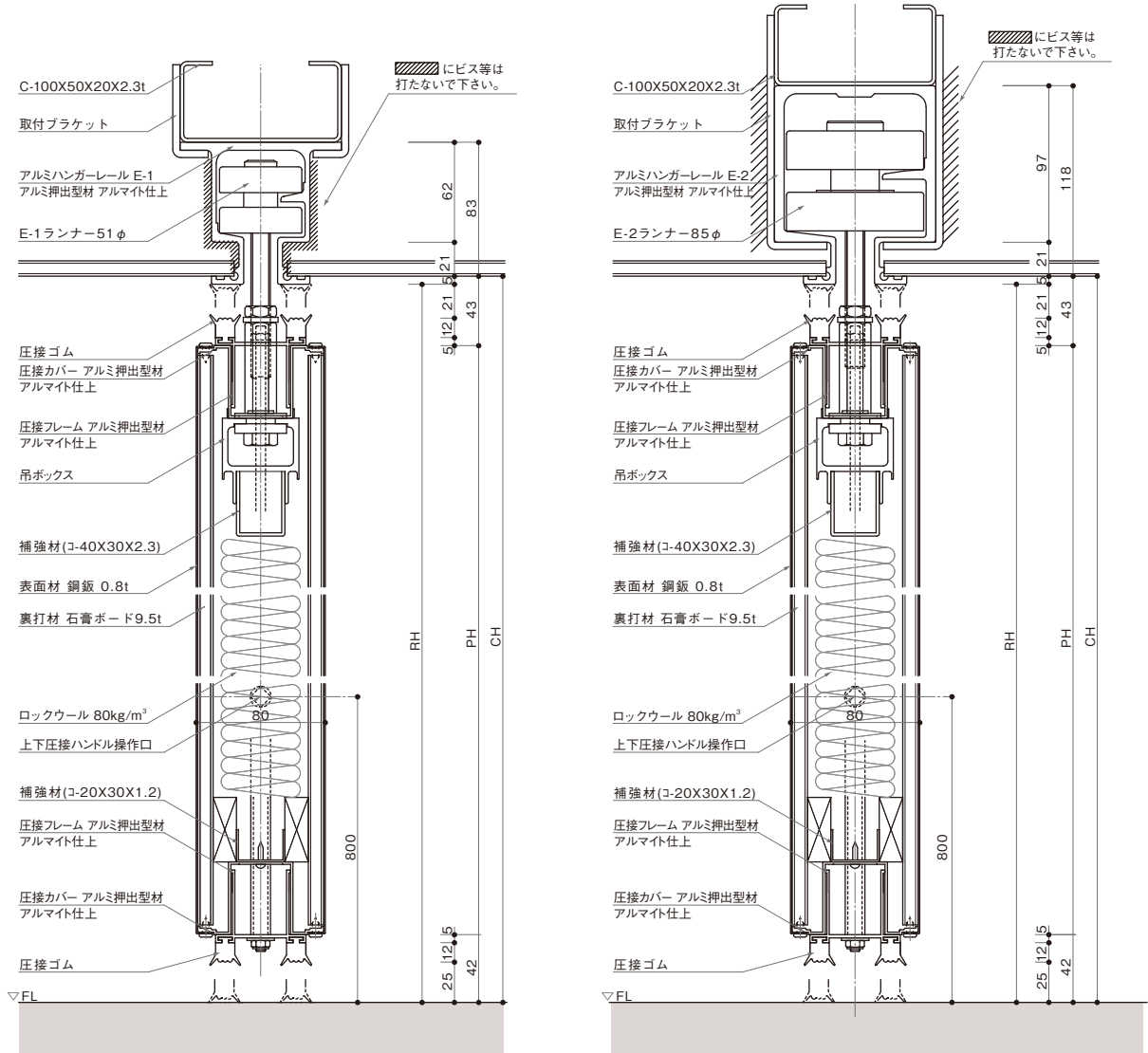
BX

遮音タイプ

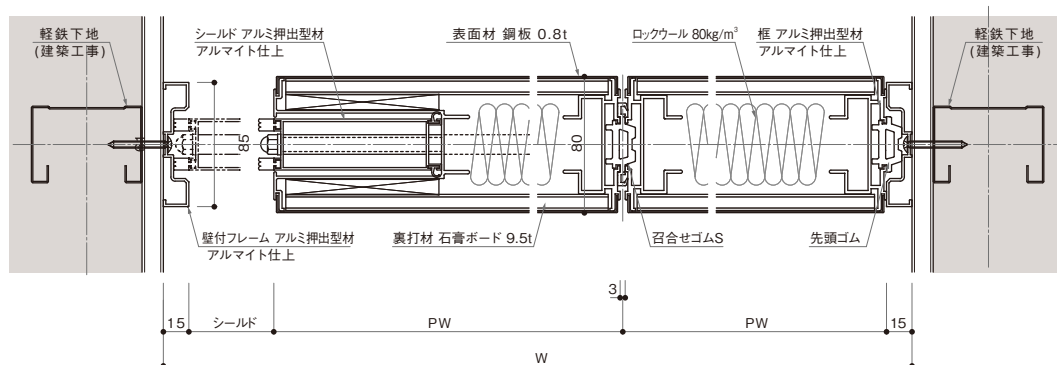
# 遮音タイプ SSシリーズ

## SS-85EL

縦断面図

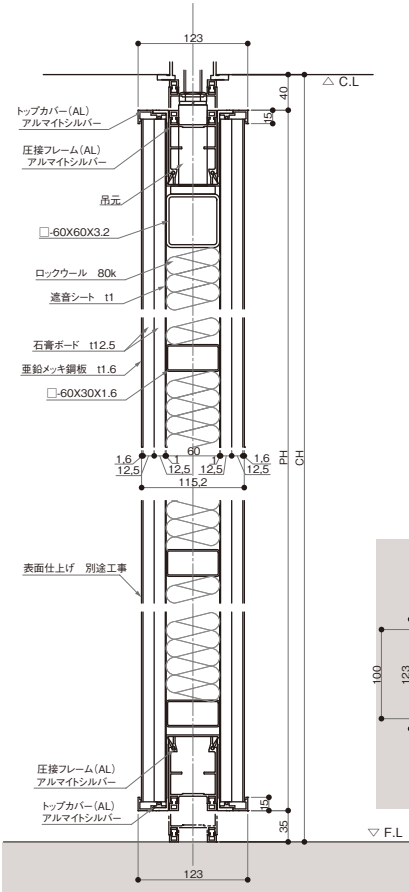


横断面図



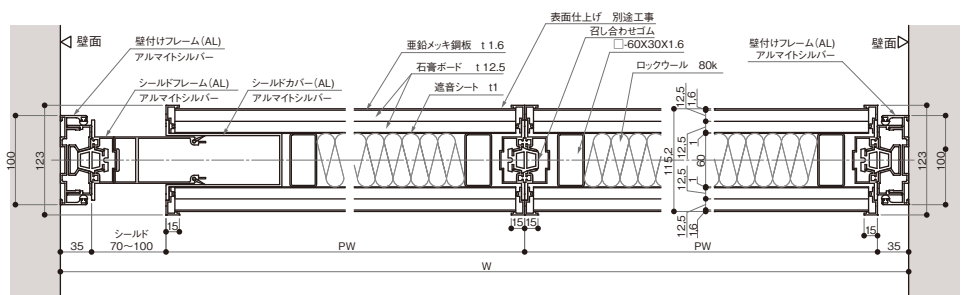
# 遮音タイプ パネル標準図SS-115

ノーマルパネル

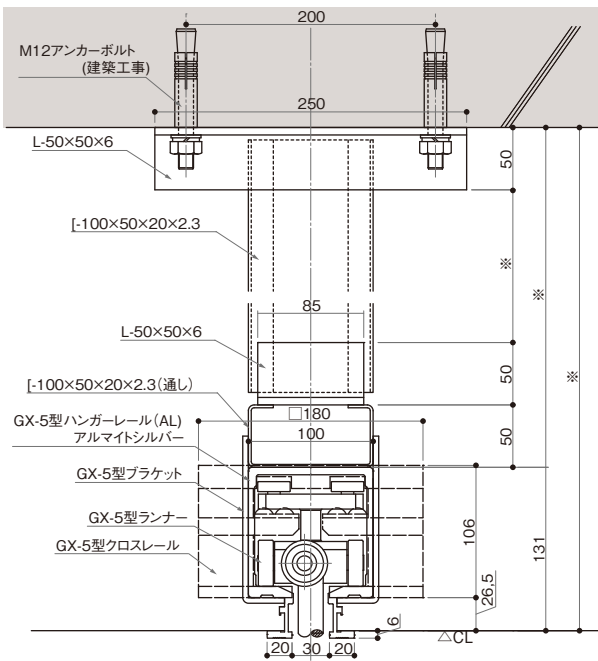


スライディングウォール SS-115型 仕様		
	ノーマルパネル	シールドパネル
寸法	PW×PH×D115	PW×PH×D115
フレーム	アルミ押出型材	アルミ押出型材
骨組	一般構造用角形鋼管	一般構造用角形鋼管
表面材	亜鉛メッキ鋼板 t1.6	亜鉛メッキ鋼板 t1.6
裏打材	石膏ボード12.5t×2層	石膏ボード12.5t×2層
遮音材	遮音シート 1t	遮音シート 1t
	ロックウール 80K×50t	ロックウール 80K×50t
圧接装置	クランクハンドル ネジジャッキ方式	クランクハンドル ネジジャッキ方式
圧接操作位置	パネル小口(片側)	パネル表面(片面)
召合せ材	軟質塩化ビニール	軟質塩化ビニール
壁面材	アルミ押出型材	アルミ押出型材
遮音性能	57dB/500Hz (パネル単体値)	
<b>駆動部品</b>		
レール	アルミorスチールハンガーレール(パネル重量により変更)	
吊車	アルミorスチールタイプ(パネル重量により変更)	

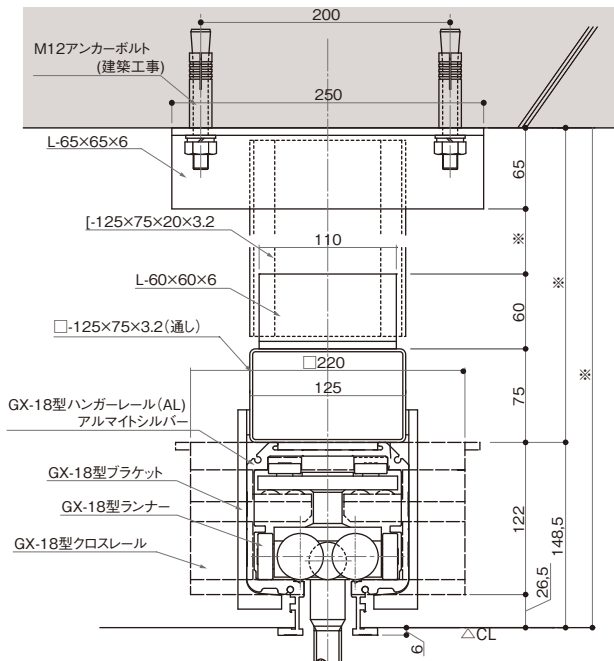
シールドパネル



GX-5型 ~500kg/パネル



GX-18型 ~1000kg/パネル

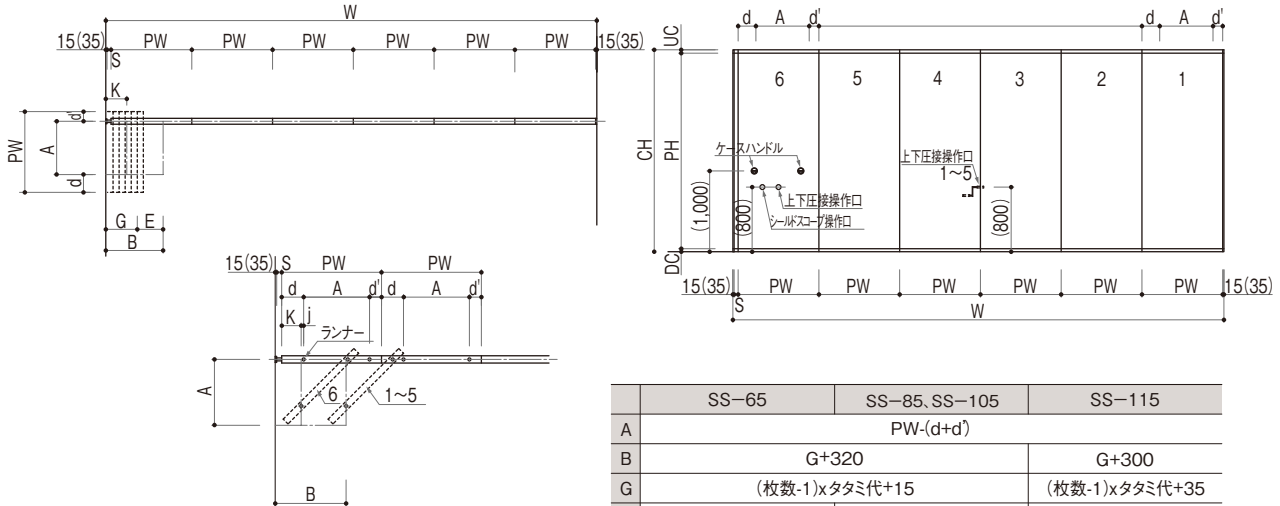


BX

遮音タイプ

# 遮音タイプ SSシリーズ 格納方法

## 1C型



( )内はSS-115のとき

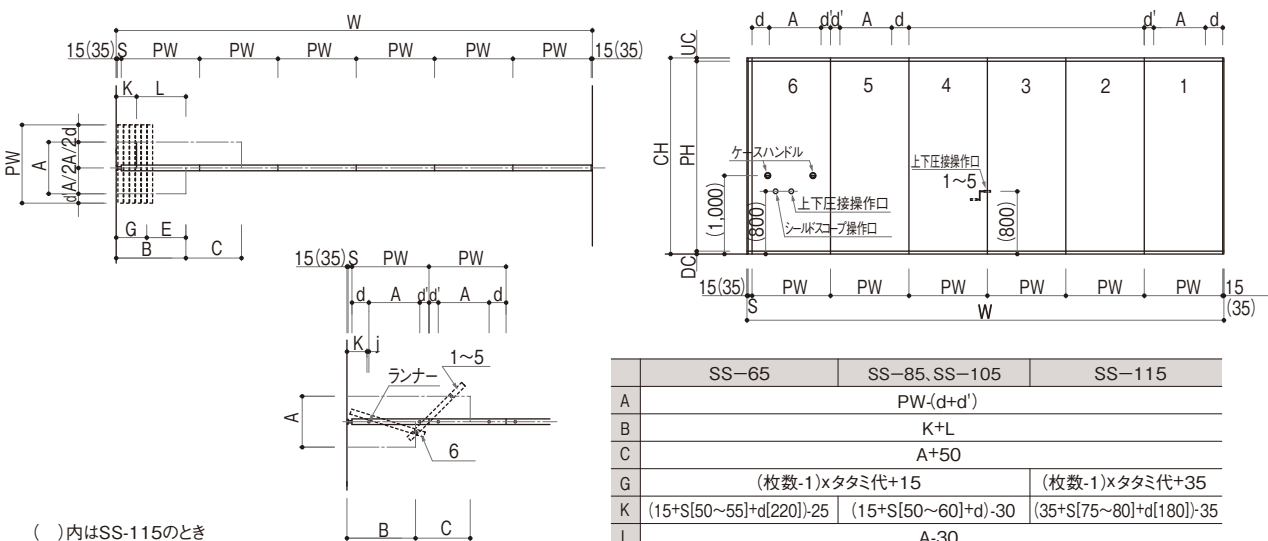
タタミ代	SS-65	80mm/枚
	SS-85	95mm/枚
	SS-105	115mm/枚
	SS-115	130mm/枚

	PW	UC	DC
SS-65	$W-(S+15+15)$	43	42
SS-85, SS-105	枚数	43	42
SS-115	$W-(S+35+35)$ /枚数	35	35

	SS-65	SS-85, SS-105	SS-115
A	$PW-(d+d')$		
B	G+320		G+300
G	(枚数-1)×タタミ代+15		(枚数-1)×タタミ代+35
K	$(15+S[50\sim55]+d[220])\cdot25$	$(15+S[50\sim60]+d)\cdot30$	$(35+S[75\sim80]+d[180])\cdot35$
S	50~55mm(サイドシール)	50~60(70)mm(サイドシール)	75~80mm(サイドシール)
d	220mm(MINI)	220mm(240mm)	180mm
d'	125~135mm	125~135mm	100mm以上、180mm未満
E	$d+100$ 以上		$d+120$ 以上
j	25mm	30mm	35mm

S:( )はSS-85

## 2CB型



( )内はSS-115のとき

タタミ代	SS-65	80mm/枚
	SS-85	95mm/枚
	SS-105	115mm/枚
	SS-115	130mm/枚

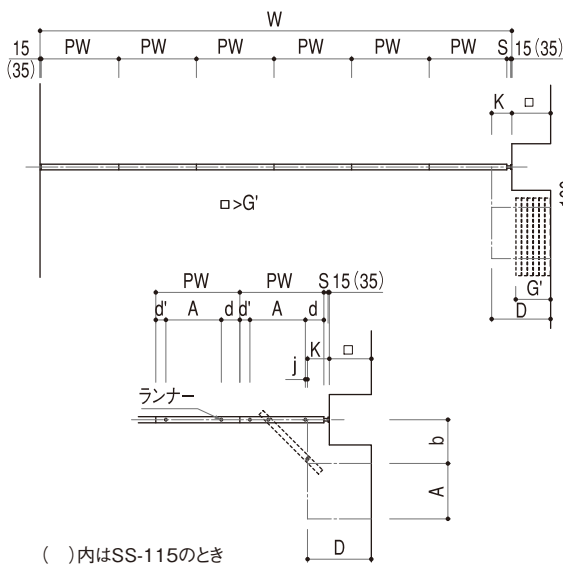
	PW	UC	DC
SS-65	$W-(S+15+15)$	43	42
SS-85, SS-105	枚数	43	42
SS-115	$W-(S+35+35)$ /枚数	35	35

	SS-65	SS-85, SS-105	SS-115
A	$PW-(d+d')$		
B	K+L		
C	A+50		
G	(枚数-1)×タタミ代+15		(枚数-1)×タタミ代+35
K	$(15+S[50\sim55]+d[220])\cdot25$	$(15+S[50\sim60]+d)\cdot30$	$(35+S[75\sim80]+d[180])\cdot35$
L	A-30		
d	220mm(MINI)	220mm(240mm)	180mm
d'	125~135mm	125~135mm	100以上、180mm未満
E	$d'+100$ 以上		$d+120$ 以上
S	50~55mm(サイドシール)	50~60(70)mm(サイドシール)	75~80mm(サイドシール)
j	25mm	30mm	35mm

S:( )はSS-85

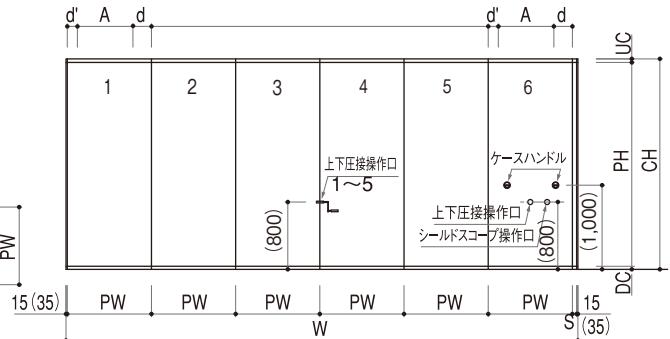


### 3CA型



( )内はSS-115のとき

タタミ代	SS-65	80mm/枚	PW	UC	DC	
		SS-85	95mm/枚	SS-65	W-(S+15+15)	43
	SS-105	115mm/枚	SS-85, SS-105	枚数	43	42
	SS-115	130mm/枚	SS-115	W-(S+35+35)/枚数	35	35

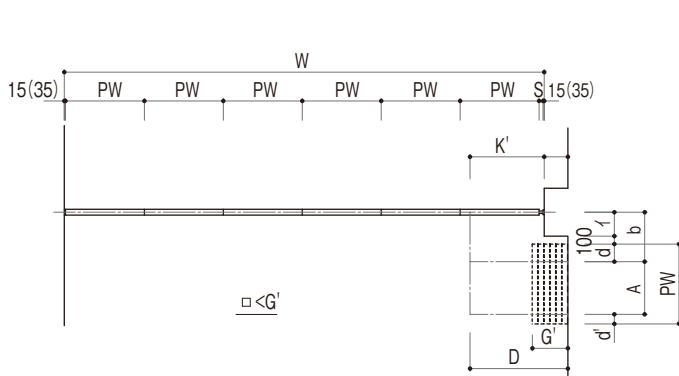


	SS-65	SS-85, SS-105	SS-115
A	PW-(d+d')		
D	□+K		
G'	枚数×タタミ代		
K	(15+S[50~55]+d[220])-25	(15+S[50~60]+d)-30	(35+S[75~80]+d[180])-35
S	50~55mm(サイドシール)	50~60(70)mm(サイドシール)	75~80mm(サイドシール)
b	1+100+d'		
d	220mm(MINI)	220mm(240mm)	180mm
d'	125~135mm	125~135mm	100mm以上、180mm未満
j	25mm	30mm	35mm

S:( )はSS-85

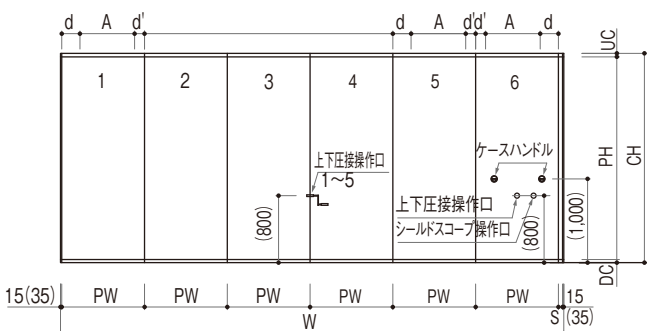
BX

### 3CB型



( )内はSS-115のとき

タタミ代	SS-65	80mm/枚	PW	UC	DC	
		SS-85	95mm/枚	SS-65	W-(S+15+15)	43
	SS-105	115mm/枚	SS-85, SS-105	枚数	43	42
	SS-115	130mm/枚	SS-115	W-(S+35+35)/枚数	35	35



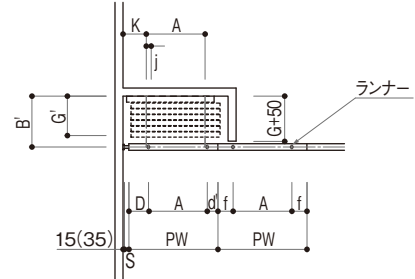
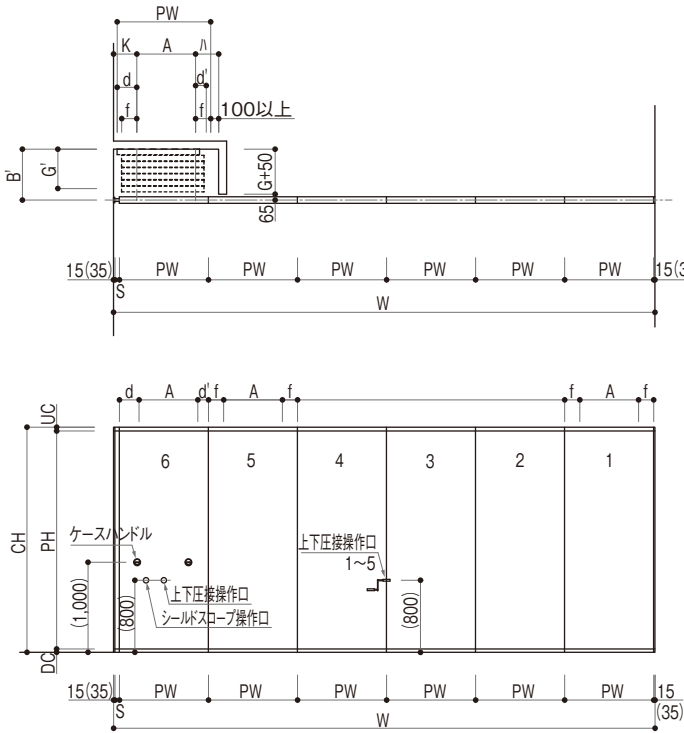
	SS-65	SS-85, SS-105	SS-115
A	PW-(d+d')		
D	□+K'		
S	50~55mm(サイドシール)	50~60(70)mm(サイドシール)	75~80mm(サイドシール)
G'	枚数×タタミ代		
K'	(PW+S[50~55]+15)-(d'+25)	(PW+S[50~60]+15)-(d'+30)	(PW+75~80+35)-(d'+35)
b	1+100+d		
d	220mm(MINI)	220mm(240mm)	180mm
d'	125~135mm	125~135mm	100以上、180mm未満
j	25mm	30mm	35mm

S:( )はSS-85

遮音タイプ

# 遮音タイプ SSシリーズ 格納方法

## 4CA型



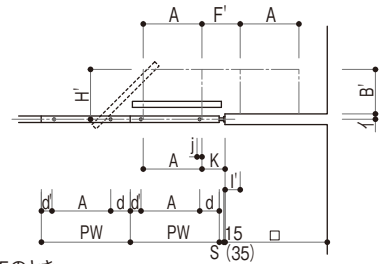
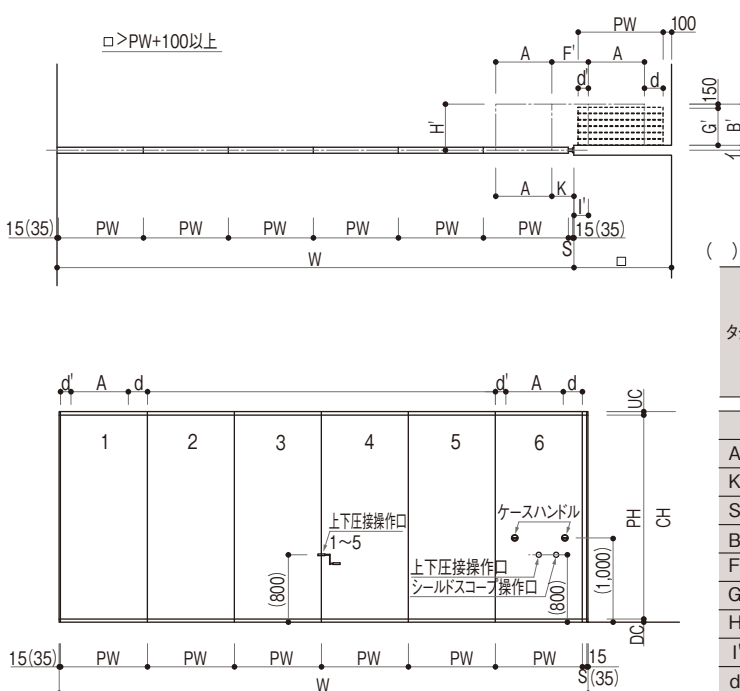
( )内はSS-115のとき

タタミ代	SS-65	80mm/枚	PW	UC	DC	
	SS-85	95mm/枚	SS-65	W-(S+15+15) 枚数	43	42
	SS-105	115mm/枚	SS-85SS-105		43	42
	SS-115	130mm/枚	SS-115	W-(S+35+35)/枚数	35	35

	SS-65	SS-85、SS-105	SS-115
A	PW-(d+d')		
K	(15+S[50~55]+d[220]) -25	(15+S[50~60]+d) -30	(35+S[75~80]+d[180]) -35
S	50~55mm(サイドシール)	50~60(70)mm(サイドシール)	75mm(サイドシール)
B'	G'+50+65	G'+50+80	G'+50+100
G'	枚数×タタミ代		
d	220mm(MINI)	220mm(240mm)	180mm
f	(PW-A)/2		
d'	125~135mm	125~135mm	100以上、180mm未満
j	25mm	30mm	35mm

S:( )はSS-85

## 4CB型



( )内はSS-115のとき

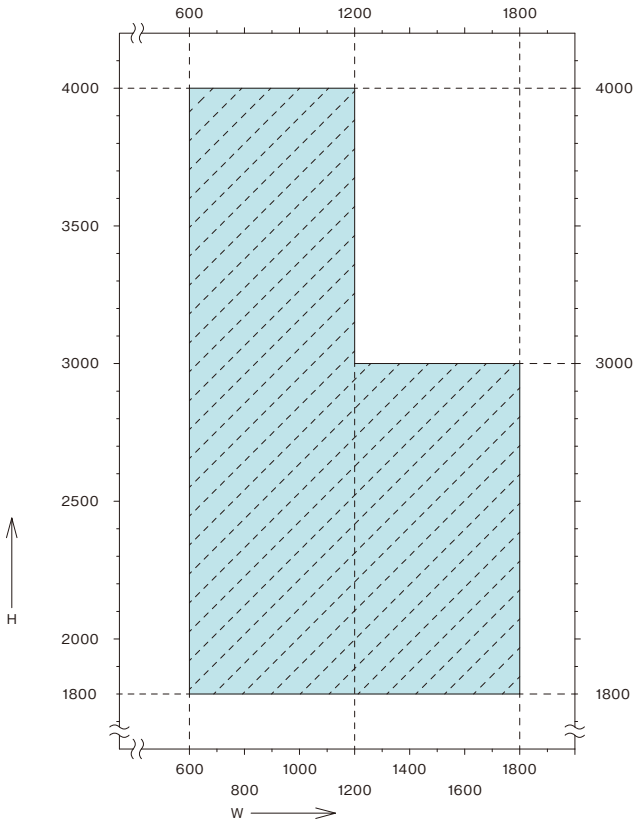
タタミ代	SS-65	80mm/枚	PW	UC	DC	
	SS-85	95mm/枚	SS-65	W-(S+15+15) 枚数	43	42
	SS-105	115mm/枚	SS-85SS-105		43	42
	SS-115	130mm/枚	SS-115	W-(S+35+35)/枚数	35	35

	SS-65	SS-85、SS-105	SS-115
A	PW-(d+d')		
K	(15+S[50~55]+d[220]) -25	(15+S[50~60]+d) -30	(35+S[75~80]+d[180]) -30
S	50~55mm(サイドシール)	50~60(70)mm(サイドシール)	75~80mm(サイドシール)
B'	G'+150		
F'	K+i'		
G'	枚数×タタミ代		
H'	B'+i		
i'	$\square - (A+d+100)$		
d	220mm(MINI)	220mm(240mm)	180mm
d'	125~135mm	125~135mm	100以上、180mm未満
j	25mm	30mm	35mm

S:( )はSS-85

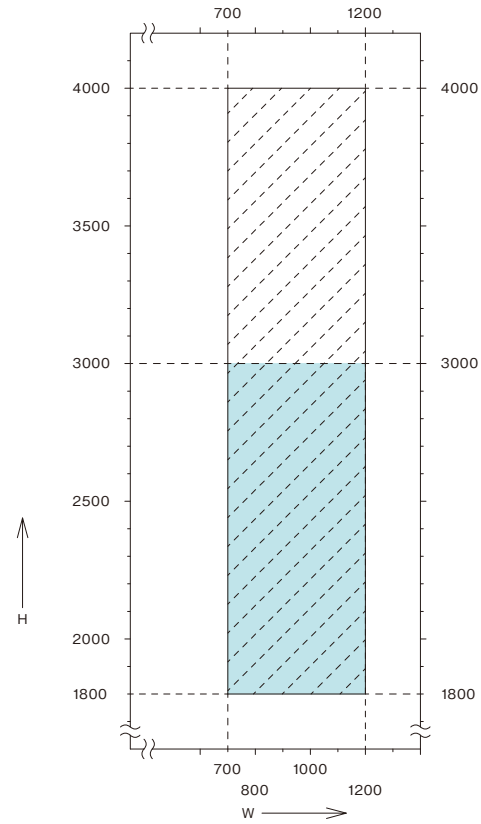
# タイプ別パネル製作範囲表

## 一般タイプ



C-50-60-70

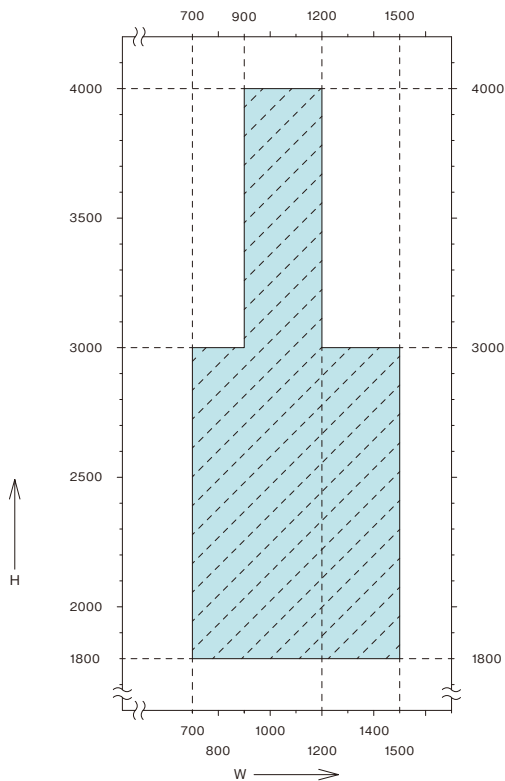
・パネル幅が650mm以下の場合、圧接装置の取付ができません。



C-60J-60P-70J-70P

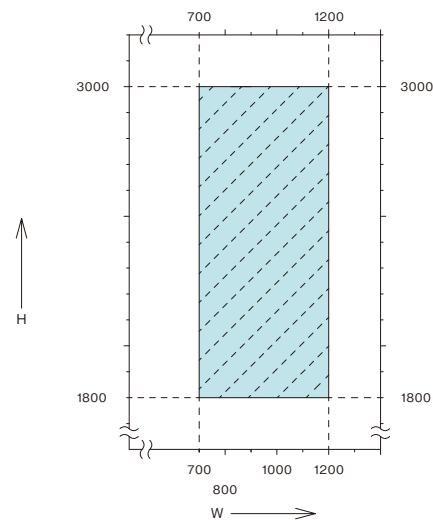
・サイドシールド付きパネルの製作最小幅は800mmとなります。(C-60J-70J)  
 ・表面材の種類によりH2400mmで目地が入りますのでご注意ください。

## 遮音タイプ



SS-65-85-105

範囲内が製作可能となります。



SS-85エッジレス

・サイドシールド付きパネルの製作最小幅は800mmとなります。

RW-115、RW-特注

# ランニングタイプ RWシリーズ

より高度な遮音性能を追求するスペースに最適。  
パネル厚は最大900mm、パネル幅も20mまで設計可能です。



## 特長

結婚式場やホテル、また宴会場など、大規模なフロアを間切る場合には、このタイプが最適です。パネル一枚あたりの横幅(W)が「RW-115」や「RW-特注」で20mあり、当社の遮音タイプ(最大W=1.5~3m)や一般タイプ(最大W=0.9m~1.8m)と比較すると、約5~10倍の横幅がありますから、フロアを間仕切る際のパネル使用枚数はもちろん、パネル同士の接続部分も少なくなりますので、音漏れや外部からの音の侵入もほとんど心配なく、より高度な遮音効果が期待できます。

## 仕様

		仕 様	RW-115	RW-特注
製 作 可 能 寸 法	パ ネ ル 幅	最 小 幅	1500mm	3600mm
		最 大 幅	20000mm	20000mm
	パ ネ ル 高	最 低 丈	2000mm	2000mm
		最 高 丈	6000mm	6000mm
	パ ネ ル 1 枚	最 大 製 作 可 能 重 量	2000kg	3000kg
	パ ネ ル 構 造	厚 さ	框 寸 法	123mm
パ ネ ル 厚 見 込 み			116mm	150mm~900mm
パ ネ ル 重 量 kg/m <sup>2</sup>		ラワン合板9t	45kg/m <sup>2</sup>	50kg/m <sup>2</sup>
		シナ合板5.5t	45kg/m <sup>2</sup>	50kg/m <sup>2</sup>
		プラスターボード 9t~12t	50kg/m <sup>2</sup>	65kg/m <sup>2</sup>
		ケイカル板12t	45kg/m <sup>2</sup>	55kg/m <sup>2</sup>
芯 材 ( 遮 音 材 )		ゴムシート	2mm	2mm
		グラスウール	32kg/m <sup>3</sup>	32kg/m <sup>3</sup>
召 合 せ 框		標 準	アルミ製、木枠	木枠
表 装 材		標 準	選択自由	選択自由
圧 接 装 置		標 準	ギヤ式	ギヤ式
ハン ガ ー レ ー ル		標 準	アルミ	アルミ
ラ ン ナ ー		標 準	樹脂ランナー ベアリングランナー	樹脂ランナー ベアリングランナー
格 納 方 法		標 準	1種類	1種類
特 殊 組 込	床の間、黒板、掲示板、他			

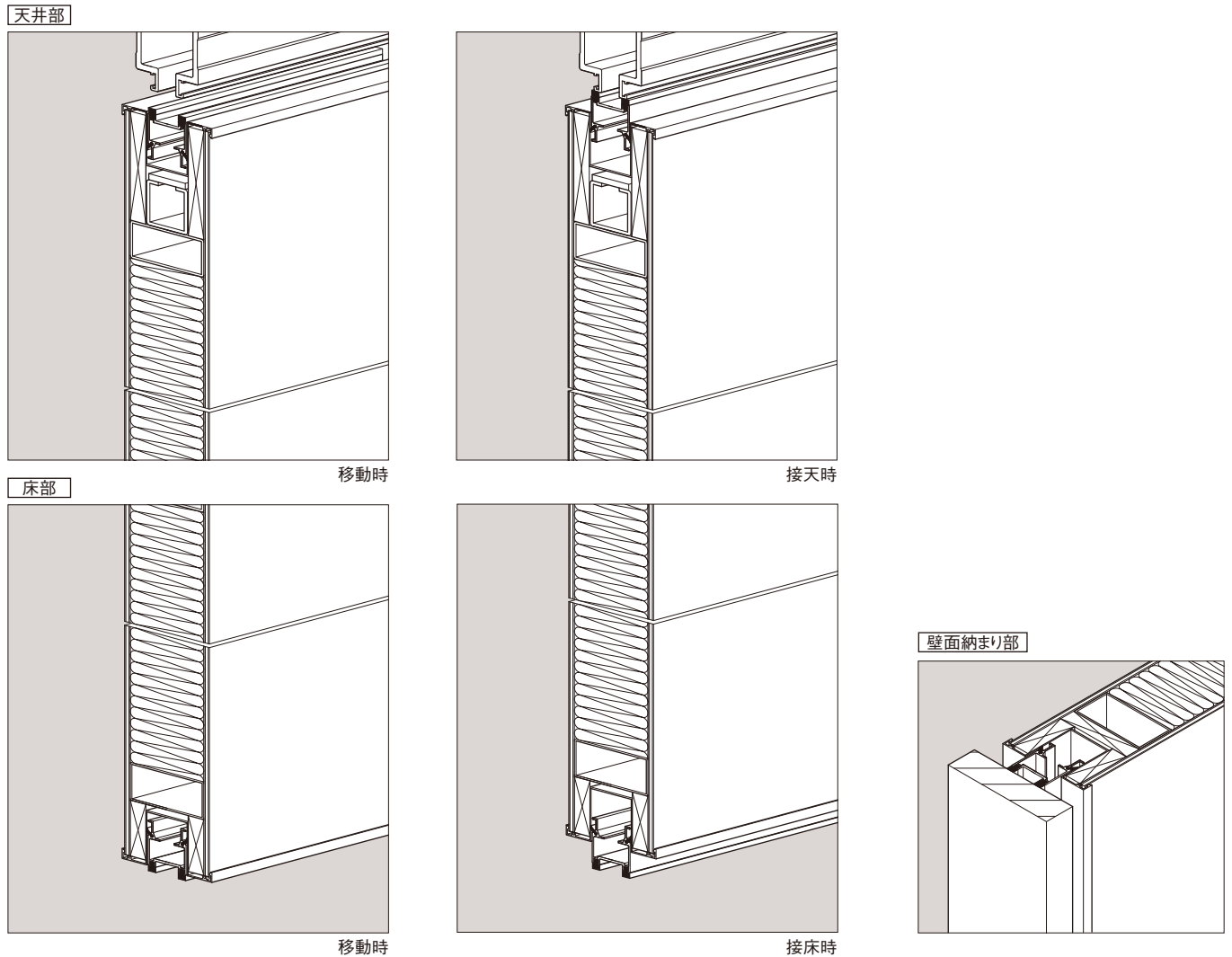
BX



RW-115、RW-特注

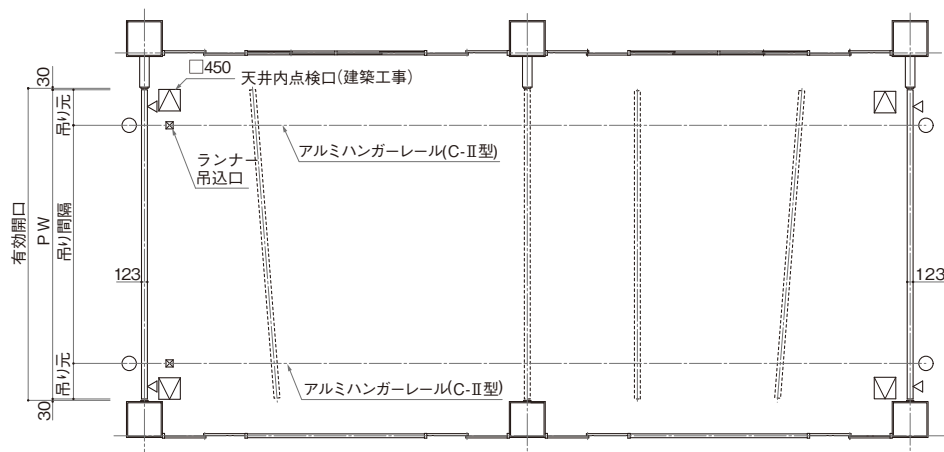
# ランニングタイプ RWシリーズ

■SS-RWパネル 圧接装置 遮音性を高めるために圧着シーンをギヤで作動し、天井、床、壁に固定します。



## ■パネル格納例及び設置例(平面図)

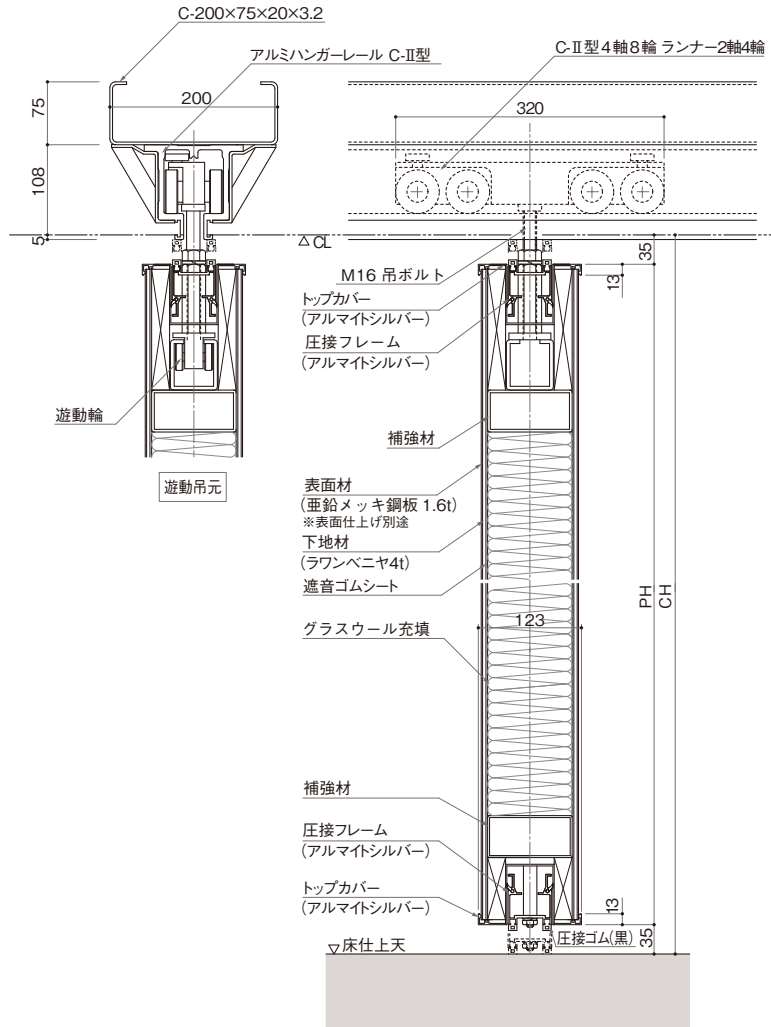
代表的なパネルの移動、格納は右図の様になります。この他にもさまざまな納まりに対応できます。



○はランナー止り、レールエンド見切加工箇所を示す  
△は、ハンドル操作口位置を示す

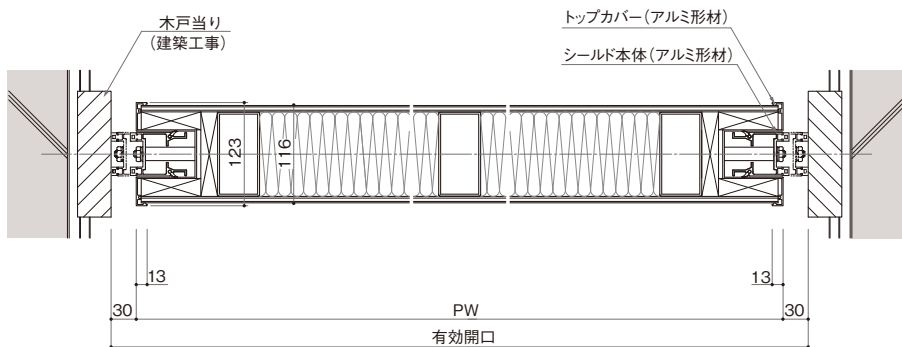
# RW-115

縦断面図



BX

横断面図



ランニングタイプ

SP-60、SP-70

## 展示タイプ SPシリーズ

美観はもちろん、質感の高さを大切にし、  
会場と調和するデザイン性も魅力のひとつです。





BX



展示タイプ



# 展示タイプ SPシリーズ

## 特長

美術館や博物館などで、絵画等の作品を展示する際に適しているのがこのタイプです。開催規模をはじめ、動員数に応じてパネルを自由に組み合わせることが可能なほか、作品の鑑賞順路として来場者の動線づくりの役割も果たします。また手軽な操作でパネルを扱えますから、事前に絵画・写真等をパネルに設置することにより、展示品の搬入・搬出時の無駄な時間を省きます。さらに開催期間中に展示内容の変更があった場合や、場内レイアウトを大幅に変える場合も、スムーズな対応が可能です。

## 仕様

		仕 様	SP-60	SP-70
製作可能寸法	パネル幅	最小幅	600mm	600mm
		最大幅	1800mm	1800mm
	パネル高	最低丈	2000mm	2000mm
		最高丈	4000mm	4000mm
パネル1枚	最大製作可能重量	150kg	150kg	
パネル構造	厚 さ	框寸法	60mm	70mm
		パネル厚見込み	56mm	66mm
	パネル重量 kg/m <sup>2</sup>	ラワン合板9t	/	/
		ラワン合板・シナ合板5.5t	16kg/m <sup>2</sup>	17kg/m <sup>2</sup>
		プラスターボード <sup>®</sup> 9t~12t	/	/
	芯 材	難燃発泡材	44mm	54mm
		グラスウール	/	/
	召 合 せ 框	標準 (オプション 木枠)	アルミ	アルミ
	表 装 材		選択自由	選択自由
	圧 接 装 置	標準 (オプション ギヤ式)	ストッパー	ストッパー
ハンガーレール	標準	アルミ	アルミ	
ラ ン ナ ー	標準	樹脂ランナー ベアリングランナー	樹脂ランナー ベアリングランナー	
格 納 方 法	標準	4種類	4種類	

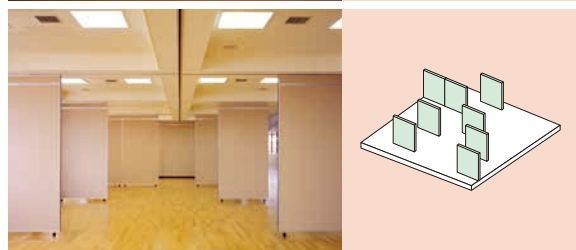
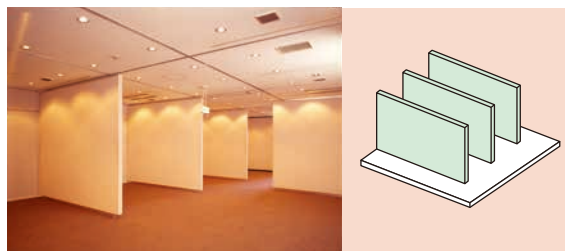
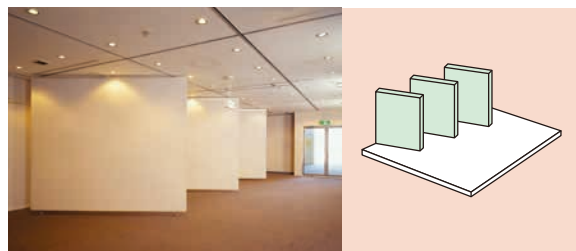
## SP-60、70用

ランニング走行レール・吊車E-1



## ■パネルレイアウト例

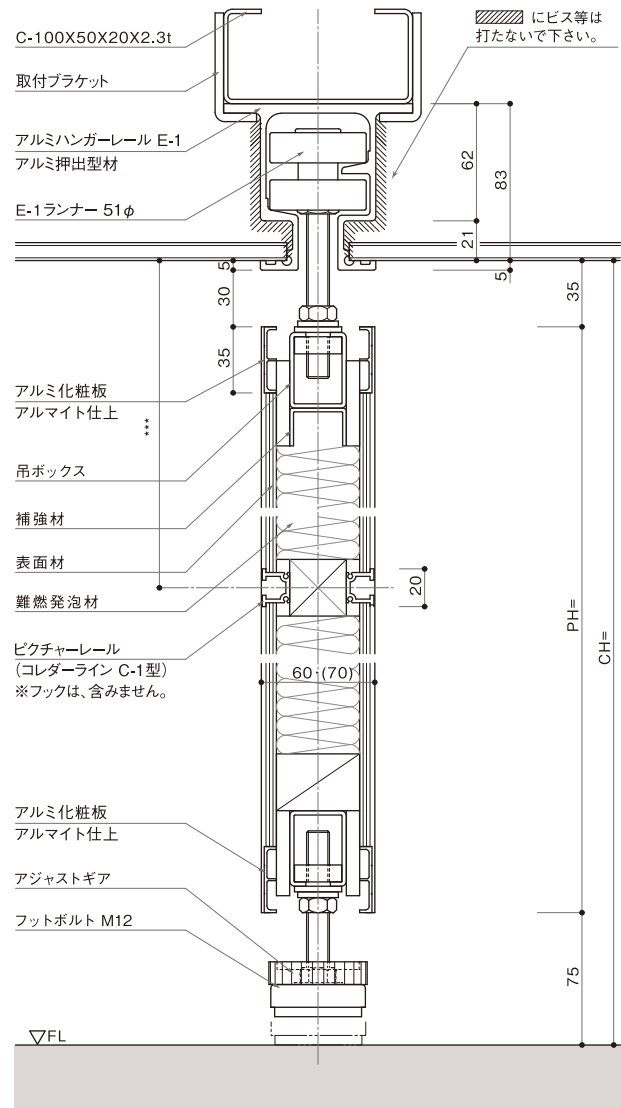
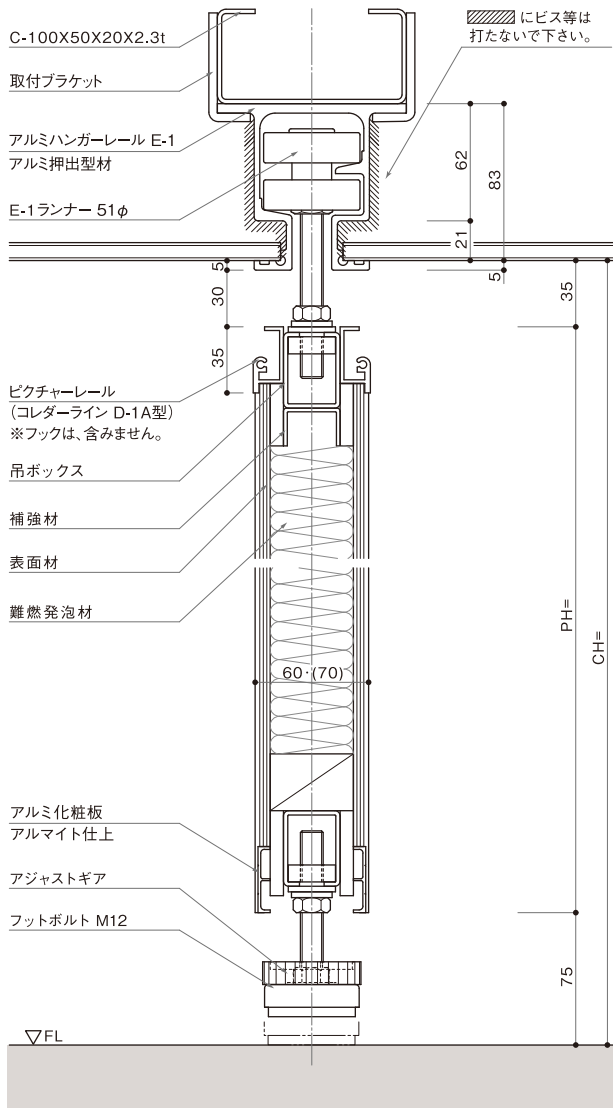
スペースに応じた自由なパネルレイアウトが可能です。



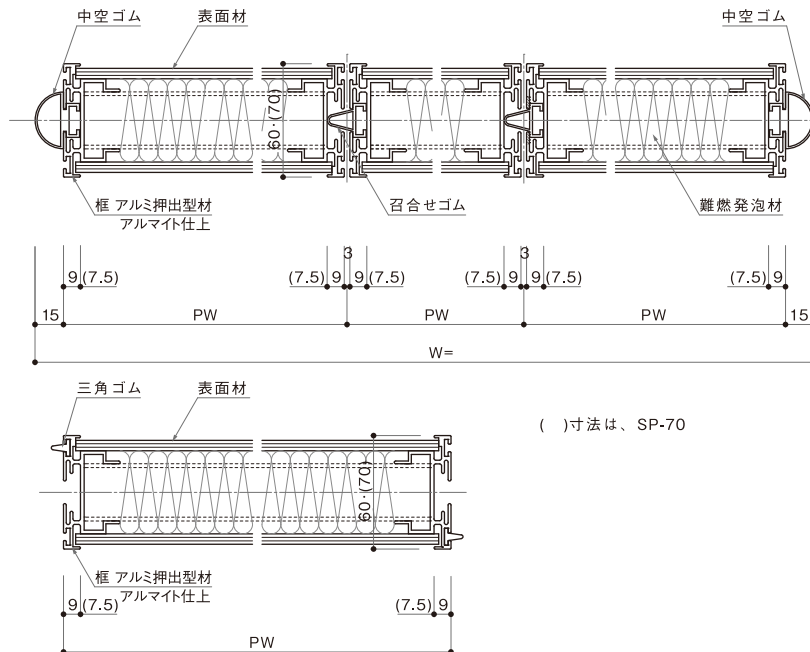


縦断面図

SP-60、70



横断面図

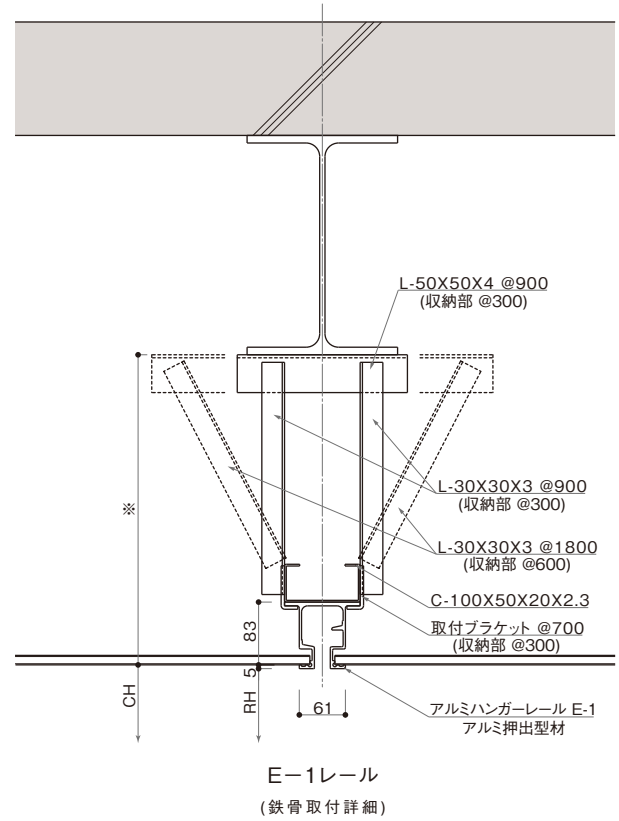
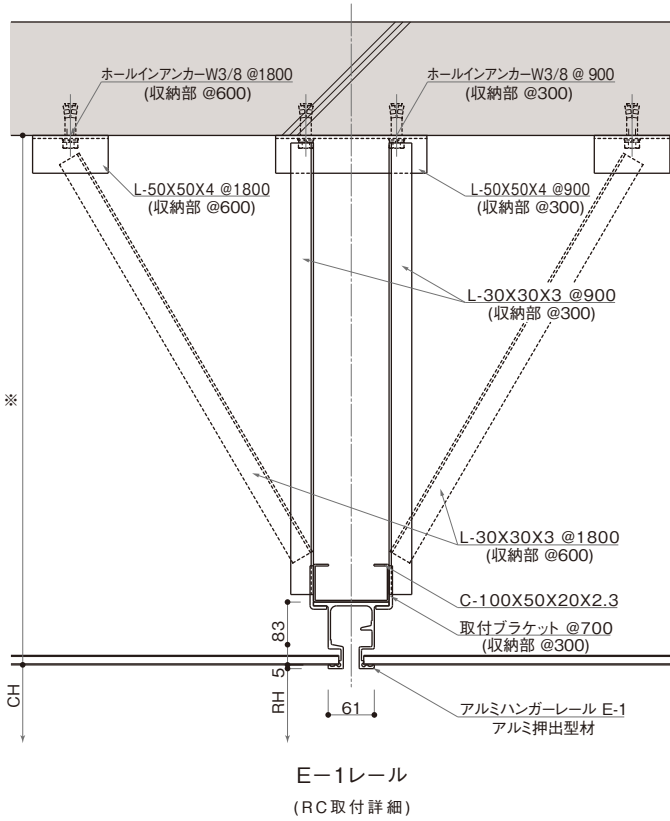


BX

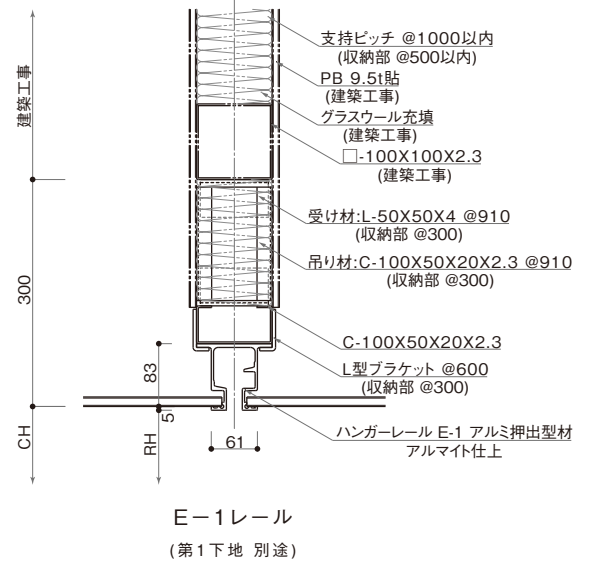
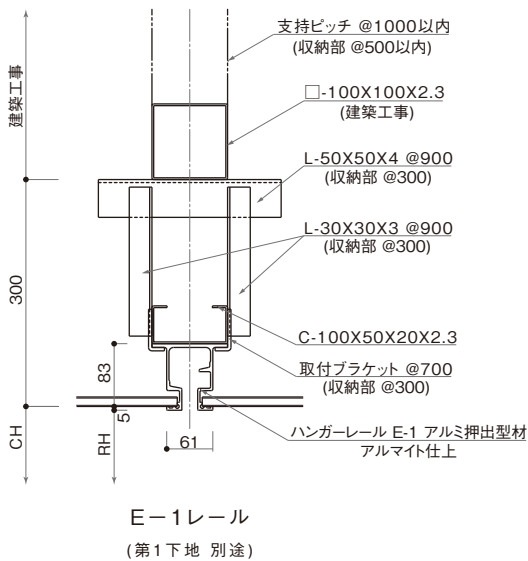
展示タイプ

# 下地工事・レール

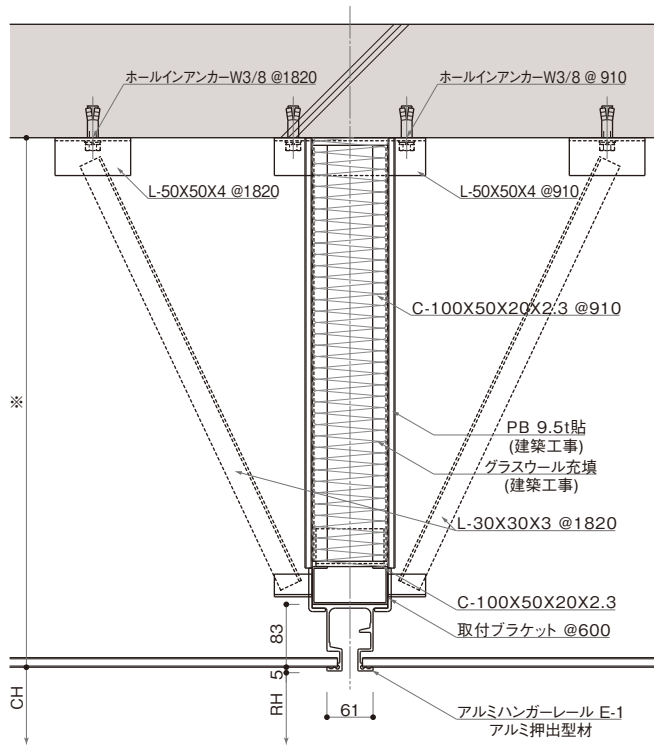
## 普通下地



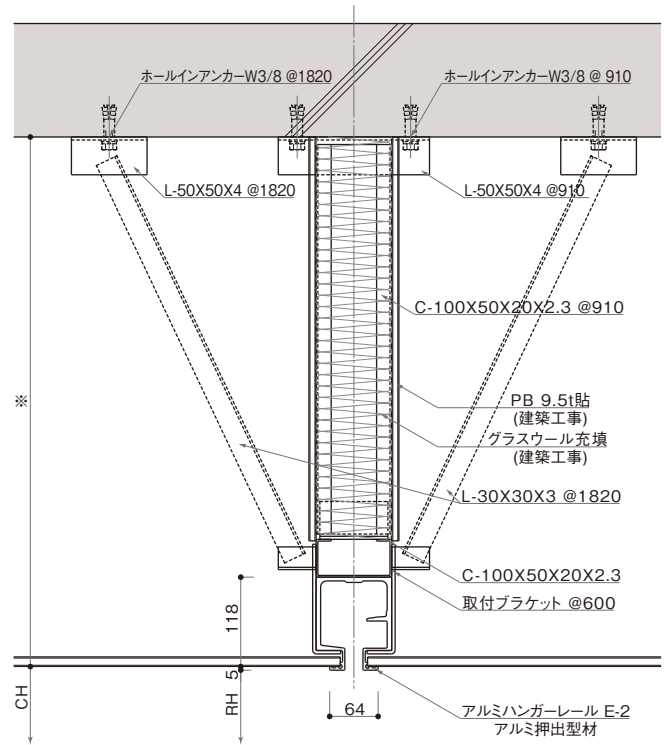
## アングル下地



## トラス下地

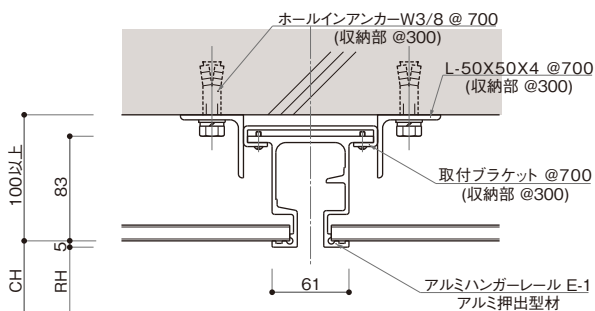


E-1レール

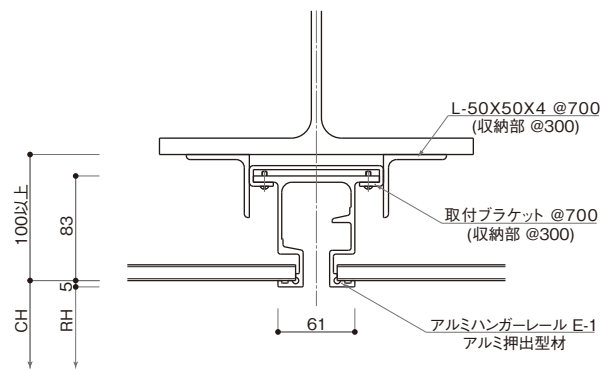


E-2レール

## 直付下地

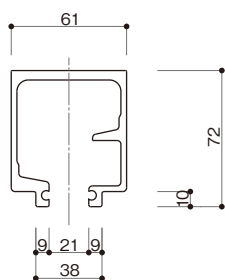


E-1レール  
(RC梁下取付詳細)

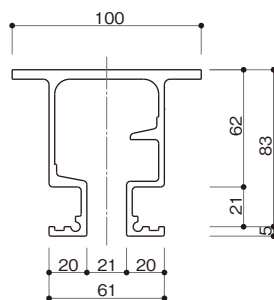


E-1レール  
(鉄骨梁下取付詳細)

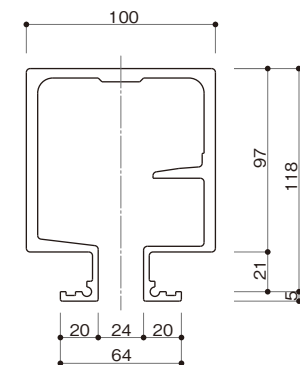
## レール寸法



ランナー E-0 レール(露出納り)  
パネル重量150kg以下



ランナー E-1 レール(天井内納り)  
パネル重量150kg以下



ランナー E-2 レール(天井内納り)  
パネル重量300kg以下

■製品保証

保証期間

施工業者よりの引渡し日(注1、注2)から2年間とします。

また、修理・点検により部品交換した場合は、交換した部品に対して1年間とします。

(注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

(注2)分譲住宅(連売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

(注3)トアクローザや錠前の保証期間は、上記にかかわらず、別途定めた内容によります。

保証内容

取扱説明書、ラベルその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き、無料修理いたします。

ただし、遠隔地や離島への出張修理の場合は交通に要する実費をいただく場合もあります。

免責事項

①天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、津波、地震、噴火、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合、またはこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

②製品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗、木製品のそり、干割れ等)や経年劣化(樹脂部分の変質、変色など)、またはこれらに伴う錆、かび、またはその他の不具合

③製品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合(例えば、塩害による腐食、大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など)

④自然現象や使用環境に起因する不具合(例えば、結露・凍結、風による振動・共鳴音など)

⑤表示された製品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど)

⑥建築躯体など、製品以外に起因する製品の不具合

⑦本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

⑧当社の手記によらない加工、組立、施工(基礎工事、取付け工事、シーリング工事など)、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用した事による変色や腐食、工事中の養生不良による変色、腐食など)

⑨お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部分の取外しを含む)に起因する不具合

⑩引渡し後の操作誤り、整備不良または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合

⑪使用に伴う接触部分の摩耗・傷・塗装のはがれや時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっさの劣化またはこれらに伴う錆などの不具合

⑫施工当時実用化されていた科学や技術、知識では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合

⑬犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫、ゴキブリ、クモなどの小動物、またはつるや根などの植物に起因する不具合

⑭機能上支障のない音、振動など感覚的現象

⑮犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※次のような消耗品については有料となります。

気密材、モヘア、小口カバー、操作ツマミなどの合成樹脂部品

※保証期間経過後の修理、交換などは、有料とします。

※本記載によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

■定期点検契約のおすすめ

未永く、安全にお使いいただくためには、定期点検が必要です。定期点検契約をむすんでいただくと、専門家による点検と保守を行います。動作状態のチェックと給油、消耗部品の交換などを定期的に実施し、正常に動くよう入念に調整いたします。点検の記録は当社に保管し、お客様にそのつど報告いたします。機能低下や不慮の事故を防ぐ定期点検契約をおすすめします。

■お手入れ方法

●スチール、ステンレス、アルミ製品共通

・雨などにより、泥、ほこりなどが付着しますと錆の発生を早め、美観上からも好ましくありません。

・製品が汚れた場合は、ぬれた布などで汚れを落とした後、固く絞った布などで水分をふきとってください。

・水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。

・なお、強風の際(特に台風の場合)は、塩分が内陸部まで飛来することがあるので、風が収まった後、できるだけ早い時期の清掃が必要です。

(注意事項)

●お手入れ回数の目安

・お手入れの際は、柔らかい布をご使用ください。

・製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。

・製品にキズが付くと、錆の原因となります。

・酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤は、変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。

(1年あたりの回数)

	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
スチール(塗装品)	1~4	1~3	1~2	1
ステンレス(素地)	10~12	1~3	8~10	4~6
アルミ(クリア塗装)	1~4	8~10	1	1

回数はいくつでも目安なので、汚れの状況に応じて清掃回数を増やしてください。

●ステンレス部品の注意事項

・ステンレスは、錆びない素材と考えられがちですが、絶対に錆びない素材ではありません。通常、塗装など表面処理をしない状態で用いられるので、清掃も頻繁に必要です。

・初期の錆については、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。

・泥、ほこり、塩水、排気ガス中の有害成分、洗浄薬液、もらい錆の付着は、ステンレス自身の錆に発展しますので、早めの清掃が必要です。

●スチール塗装品の再塗装

再塗装時期は、塗料種類や環境により異なりますが、3~7年に1度が適当です。

修理・点検に関するお問い合わせは

☎ 0120-365-113

365日いいサービス

ご利用は

アットタイムサービスシステム



突然のシャッターや窓シャッターの故障。そんな時は、文化シャッターサービス(株)のATSS=アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日素早く対応いたします。

No.874 初版CA705-5AK'98・06 第20版CA905-5AJ'23・08

カタログの色は製品と多少異なる場合があります。製品改良のため予告なく仕様の変更をすることがあります。

